

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移
(最近の動向)

令和8年6月18日
四国森林管理局

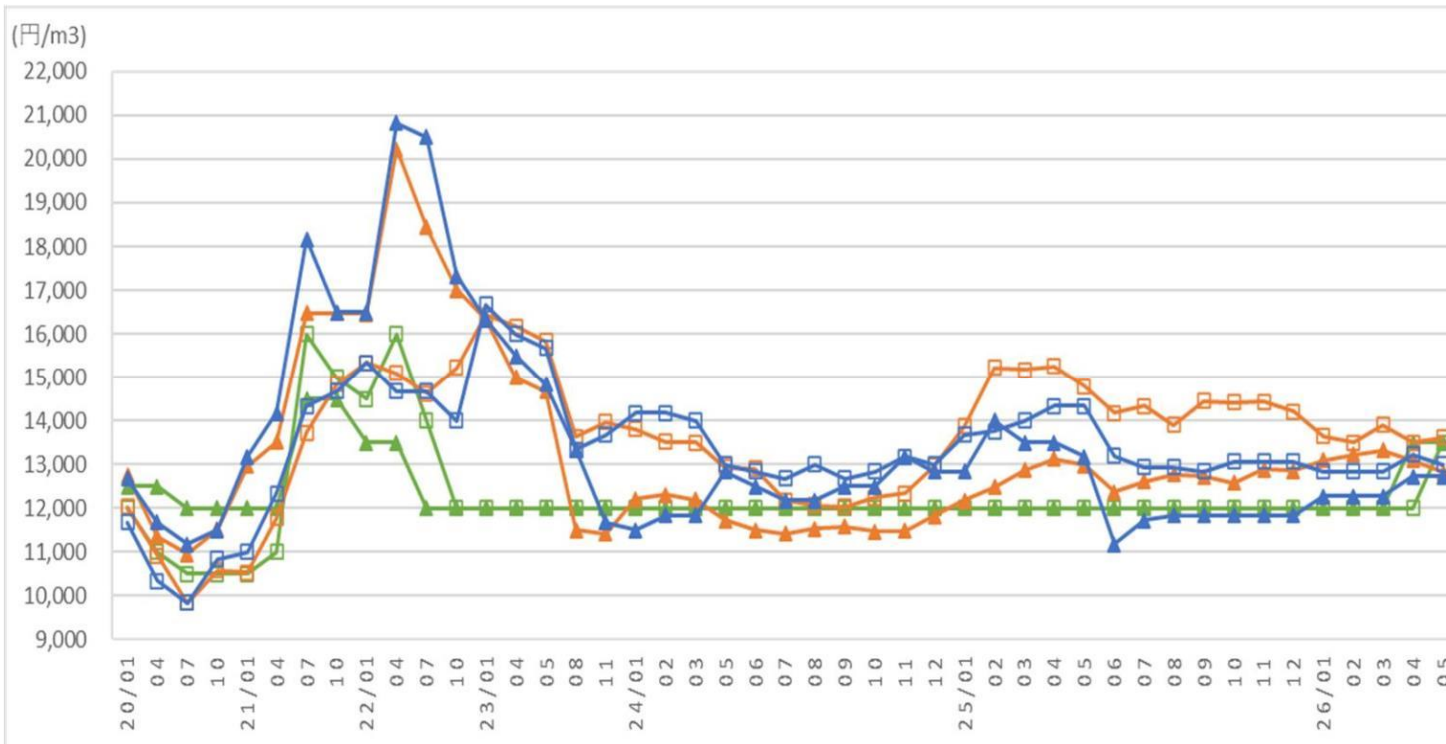
目次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移	1
2	丸太取扱量の推移	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移	8
3	製材品価格の推移	9
III	全国の丸太価格の動向	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移	12
2	全国の住宅着工戸数の推移	14

I 管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 丸太価格の推移 (スギ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 愛媛県は3mはやや下落傾向。4mはほぼ横ばいで推移。
- 高知県は3mはやや上昇傾向。4mはほぼ横ばいで推移。
- 徳島県は3mが4月、4mは5月に値を上げた。
- 令和8年5月のスギ丸太価格は、愛媛県、高知県は3mは前年同月比97~99%とはほぼ横ばい。4mは約1割安。徳島県は3m、4mとも約1割高。



○ 5月のスギ丸太価格

(円/m³)

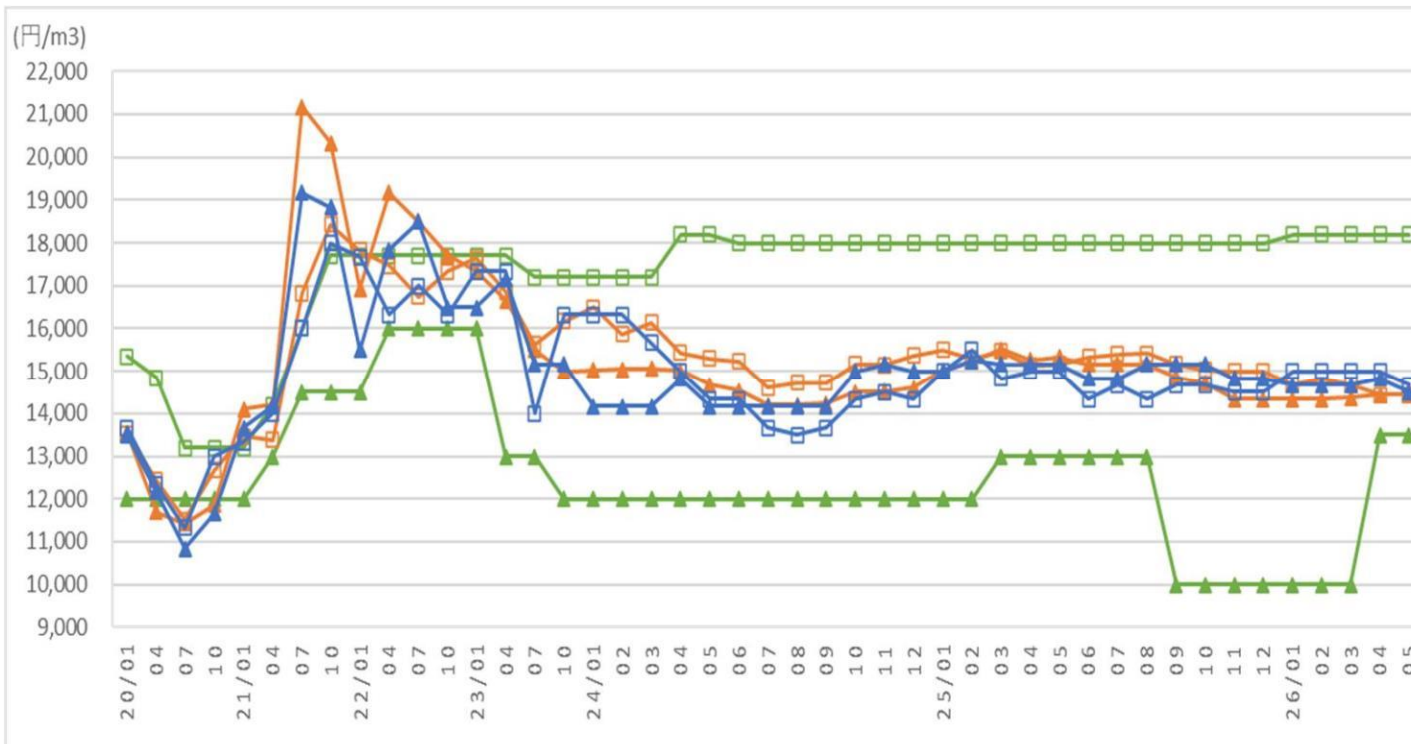
県	長級	当月	前年同月	前年同月比
徳島県	▲ 3m材	13,500	12,000	113%
	□ 4m材	13,500	12,000	113%
愛媛県	▲ 3m材	12,811	12,983	99%
	□ 4m材	13,600	14,790	92%
高知県	▲ 3m材	12,722	13,167	97%
	□ 4m材	13,000	14,333	91%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(2)丸太価格の推移 (スギ、径18cm~22cm 長3m材・4m材)

- 愛媛県、高知県は3m、4mともほぼ横ばいで推移。
- 徳島県は3mが4月に値を上げた。
- 令和8年5月のスギ丸太価格は、愛媛県、高知県は3m、4mとも前年同月比94~98%でやや下落。徳島県は3m、4mとも101~104%でやや上昇。



○ 5月のスギ丸太価格

(円/m³)

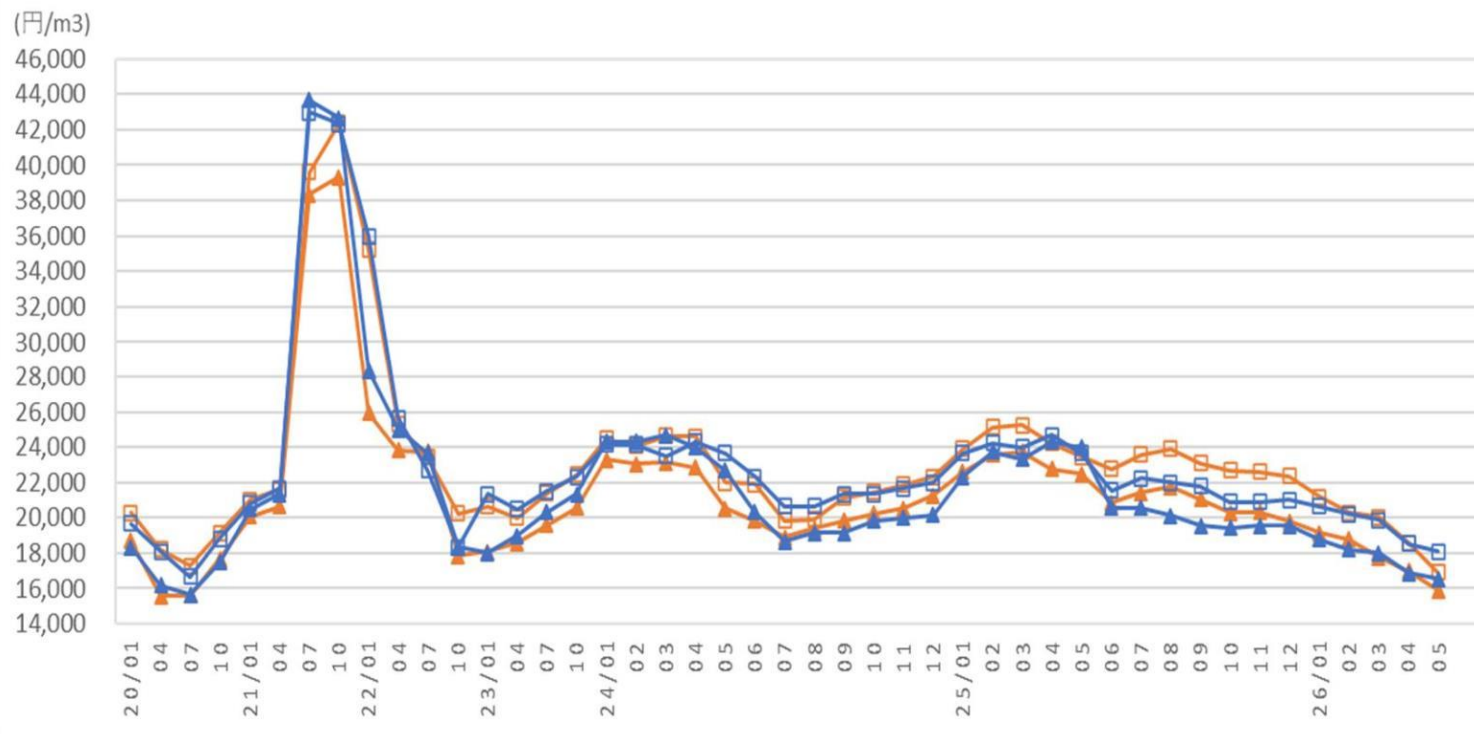
県	長級	当月	前年同月	前年同月比
徳島県	▲ 3m材	13,500	13,000	104%
	□ 4m材	18,200	18,000	101%
愛媛県	▲ 3m材	14,433	15,333	94%
	□ 4m材	14,433	15,167	95%
高知県	▲ 3m材	14,500	15,167	96%
	□ 4m材	14,667	15,000	98%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(3)丸太価格の推移（ヒノキ、径14cm～16cm 長3m材・4m材）

- 愛媛県、高知県とも昨年の7月、8月から下落傾向。
- 令和8年5月のヒノキ丸太価格は、前年同月比69%～77%で下落。



○ 5月のヒノキ丸太価格

(円/m3)

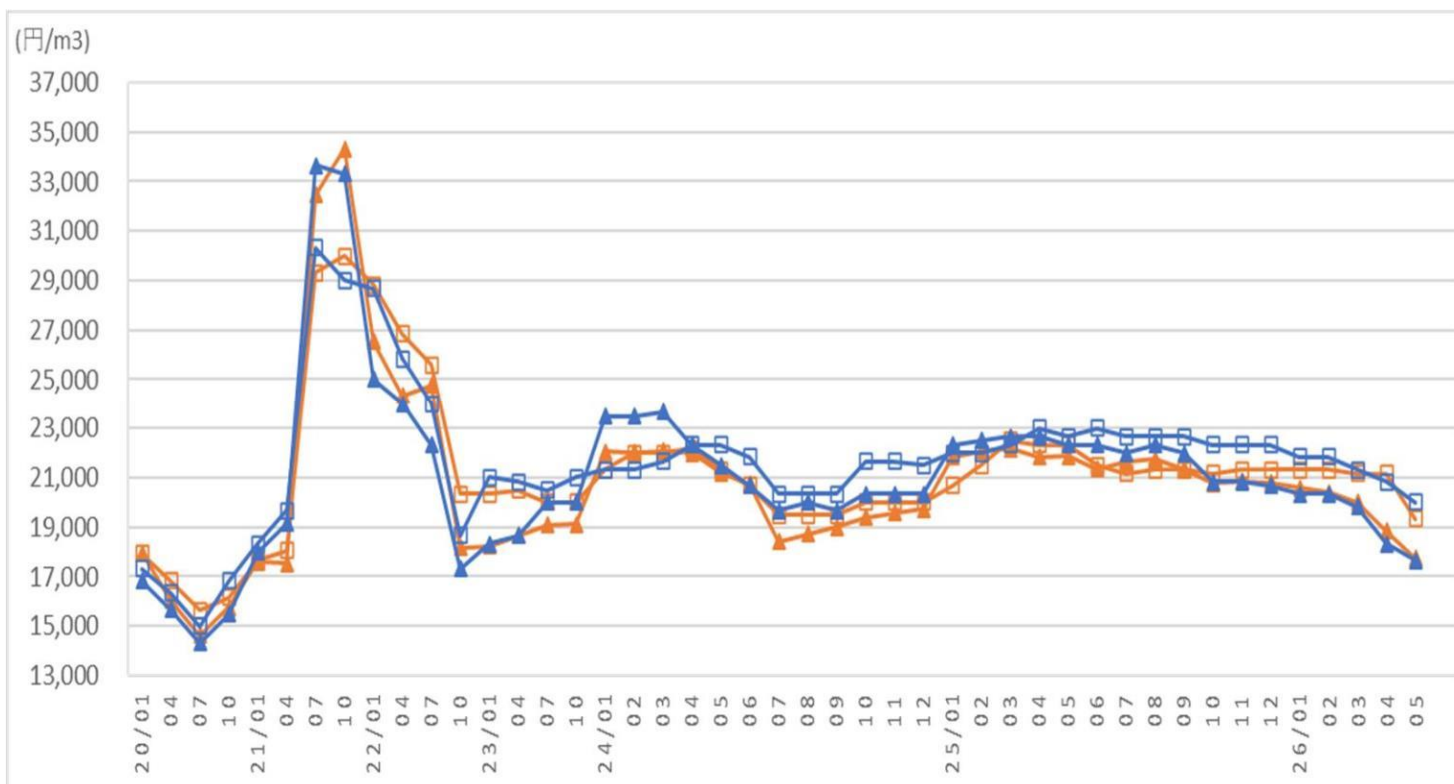
県	長級	当月	前年同月	前年同月比
愛媛県	▲ 3 m材	15,896	22,480	71%
	□ 4 m材	16,900	23,477	72%
高知県	▲ 3 m材	16,556	24,000	69%
	□ 4 m材	18,111	23,667	77%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

1-(4)丸太価格の推移（ヒノキ、径18cm～22cm 長3 m材・4 m材）

- 愛媛県、高知県とも今年度に入ってから、横ばいから下落傾向で推移。
- 令和8年5月のヒノキ丸太価格は、前年同月比79%～88%で下落。



○ 5月のヒノキ丸太価格 (円/m³)

県	長級	当月	前年同月	前年同月比
愛媛県	▲ 3 m材	17,733	21,867	81%
	□ 4 m材	19,333	22,333	87%
高知県	▲ 3 m材	17,667	22,333	79%
	□ 4 m材	20,000	22,667	88%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

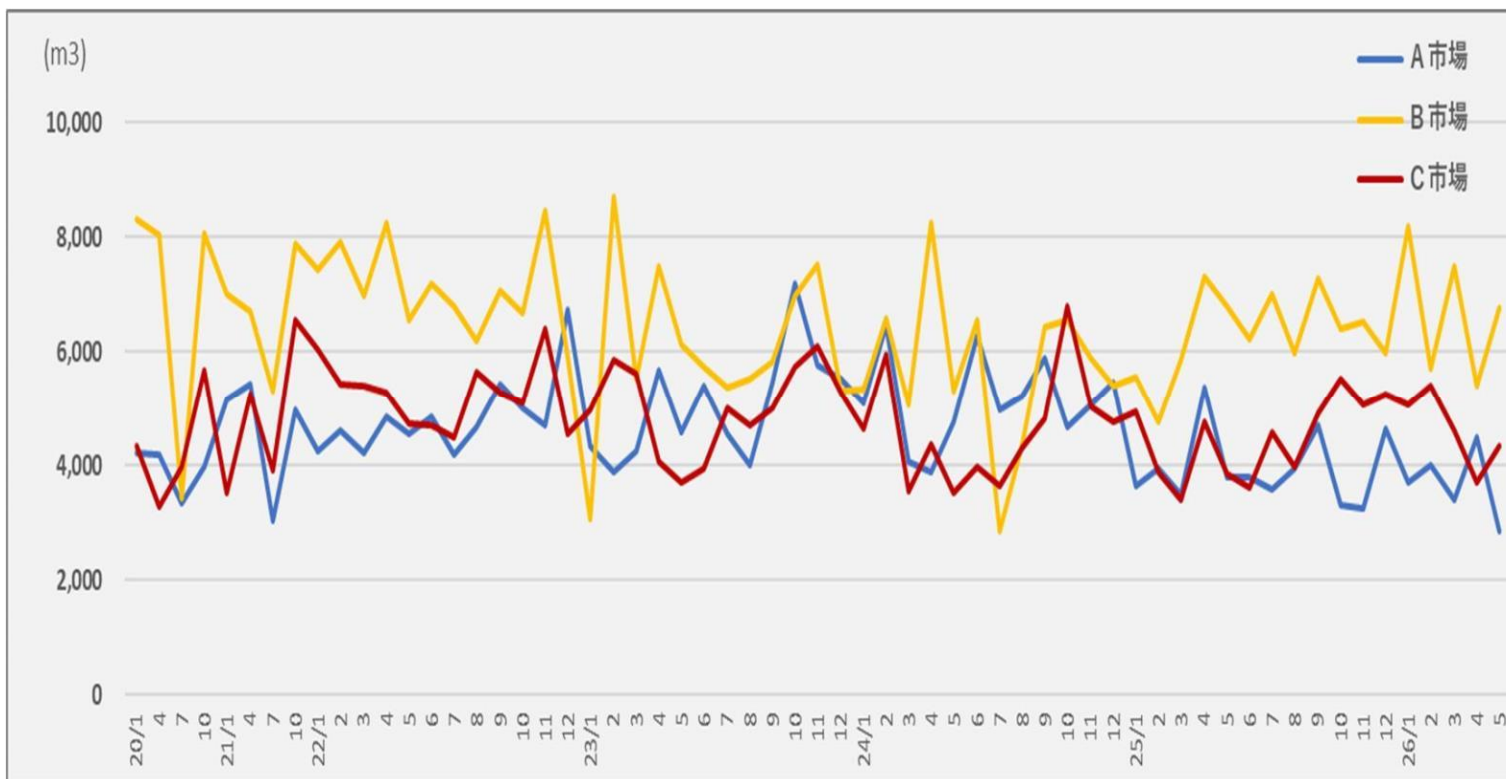
Ⅰ 管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 愛媛県内の丸太取扱量

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における5月の丸太取扱量は、前月比103%と増加。
- 直近3か月（3～5月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期と比べると96%と減少。

直近3か月（3～5月）の入荷量

	2026年	2025年	前年度同期比
A市場	10,727	12,637	85%
B市場	19,615	19,958	98%
C市場	12,619	11,977	105%
計	42,961	44,572	96%



（市場関係者のコメント）

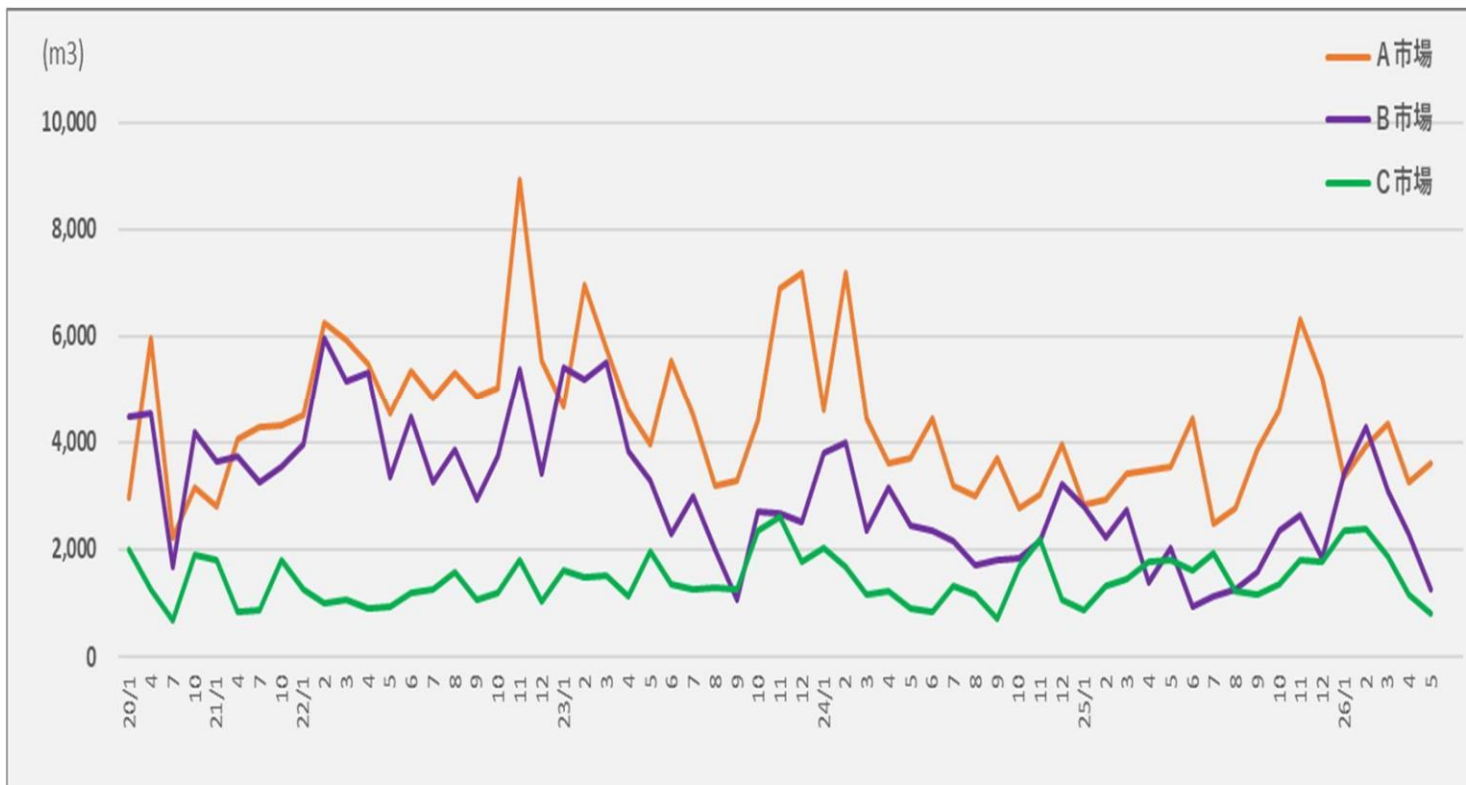
- ・天候も安定し入荷量は増加。
- ・入荷量は予定量に届いていない。
- ・スギの引き合いはやや弱含み。ヒノキは製品の動きが悪く、在庫過多により弱含みで価格も下落。
- ・引取りについてはスギは良いがヒノキは悪い。
- ・今後の出材量は梅雨時期、虫害の影響により落ち着くと思われる。
- ・今後は虫害もあり、引き合いは弱くなり価格も下がるのではないかと先行きが不透明。

2-(2) 高知県の丸太取扱量の推移

- 高知県内の主な原木市場・共販所における5月の丸太取扱量は、前月比84%と減少。
- 直近3か月（3～5月）の3市場合計の取扱量は、前年同時期とほぼ横ばい。

直近3か月（3～5月）の入荷量

	2026年	2025年	前年度同期比
A市場	11,195	10,435	107%
B市場	6,650	6,144	108%
C市場	3,863	5,030	77%
計	21,708	21,609	100%



(市場関係者のコメント)

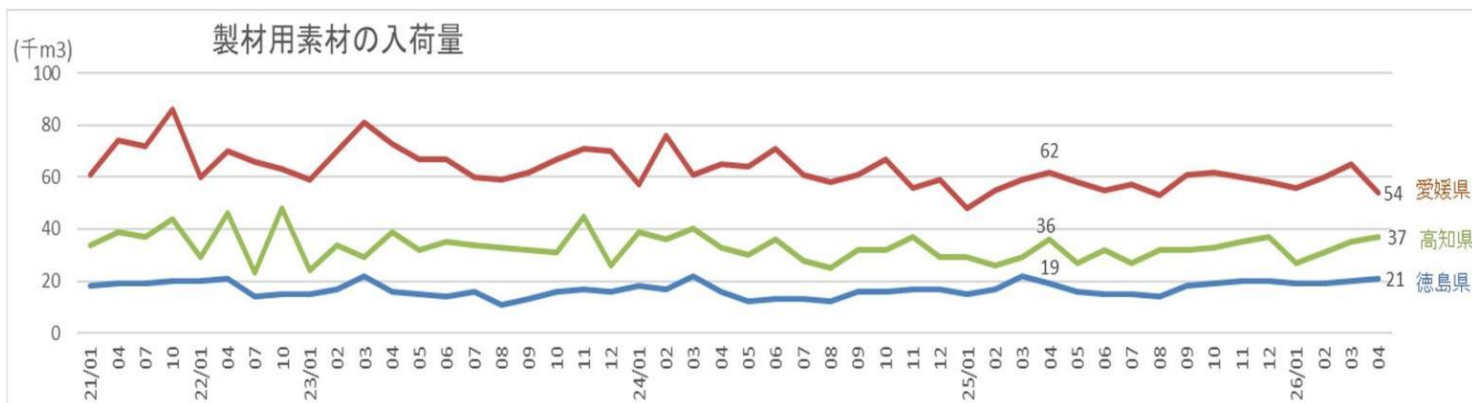
- ・ 入荷量は全体的に減少。スギの割合が少なく、ヒノキが多い。
- ・ スギの引き合いは横ばい。ヒノキは引き合いが弱く、価格は下落傾向。
- ・ 材の引取りは良好。
- ・ 今後のスギの引き合いは現状か弱保合で推移すると思われる。ヒノキは引き合いは弱く価格は下落傾向。

資料：四国森林管理局調べ

II 管内における製材等の状況

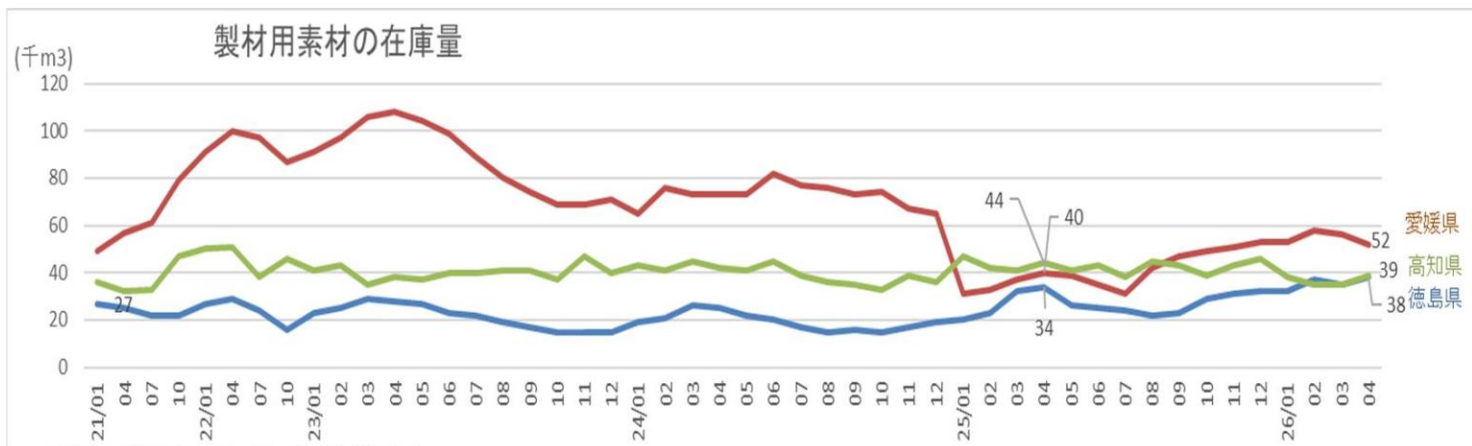
1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和8年）

- 四国の2～4月の工場の製材用素材の入荷量は、34万2千m³（前年度比105%）。徳島県、愛媛県、高知県とも前年度比で増加。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、4万3千m³（前年度比119%）。徳島県、愛媛県は前年度比で増加、高知県は減少。



(千m³)

	2026年	2025年	前年度比
徳島	60	58	103%
愛媛	179	176	102%
高知	103	91	113%
四国計	342	325	105%

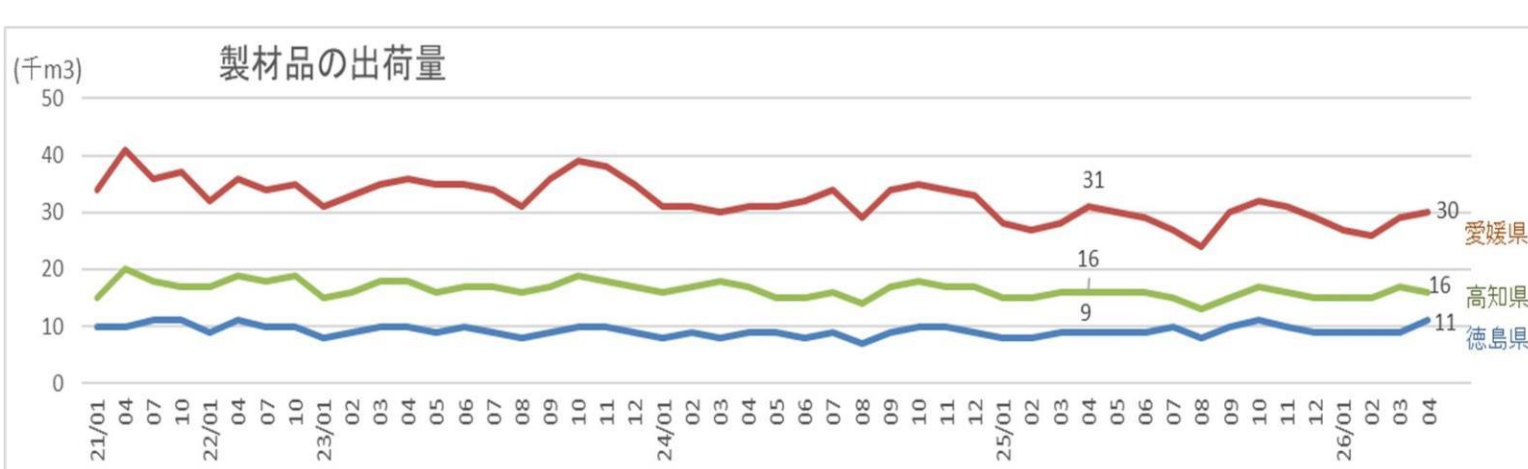


(千m³)

	2026年	2025年	前年度比
徳島	37	30	123%
愛媛	55	37	149%
高知	36	42	86%
四国計	43	36	119%

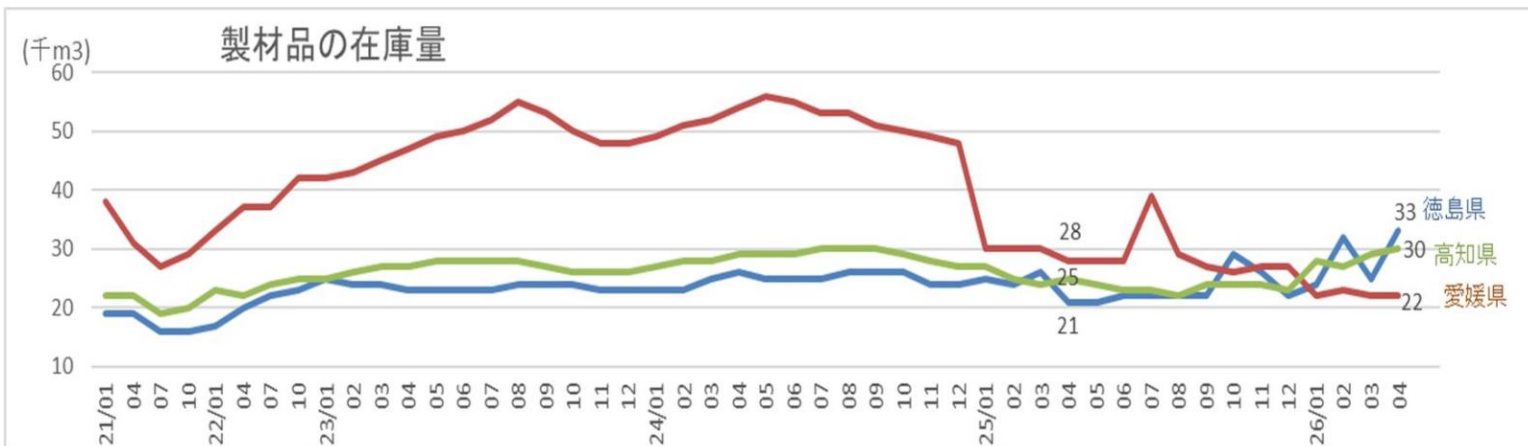
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和3年～令和8年）

- 四国の2～4月の製材品出荷量は、16万2千m³（前年度比102%）。徳島県は前年度比で増加、愛媛県、高知県はほぼ横ばい
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、2万7千m³（前年度比104%）。徳島県は前年度比で大幅に増加し、高知県も増加。愛媛県は大幅に減少。



(千m³)

2～4月製材品出荷量			
	2026年	2025年	前年度比
徳島	29	26	112%
愛媛	85	86	99%
高知	48	47	102%
四国計	162	159	102%

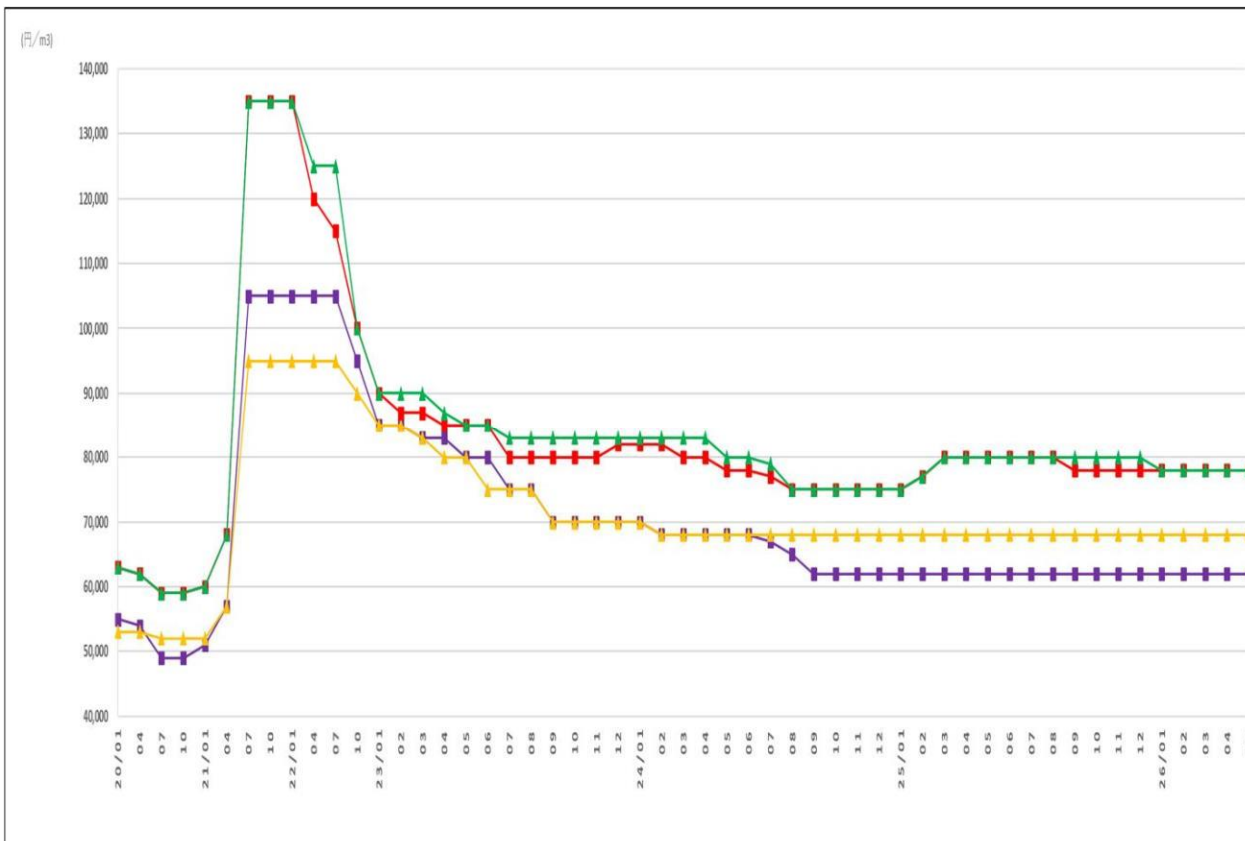


(千m³)

2～4月製材品在庫量(月平均)			
	2026年	2025年	前年度比
徳島	30	24	125%
愛媛	22	29	76%
高知	29	25	116%
四国計	27	26	104%

3. 製材品価格の推移

- スギは横ばい、ヒノキはほぼ横ばいで推移。
- 前年同月比ではスギは100%。ヒノキは98%。



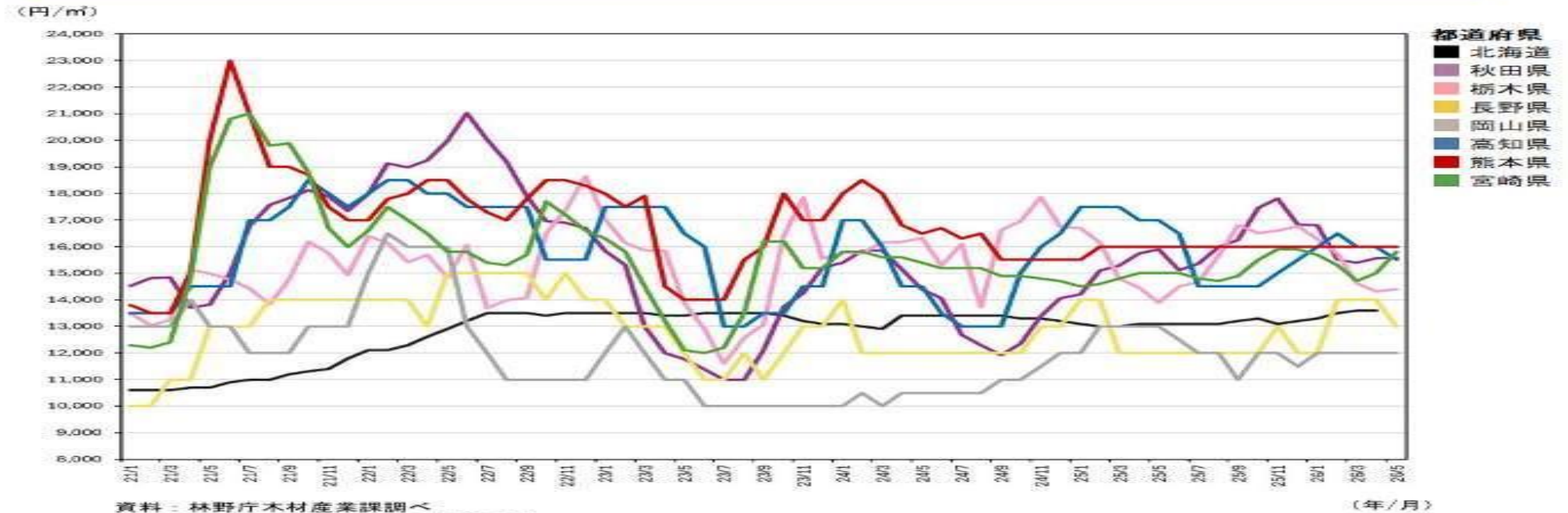
国産材製品の相場（愛媛県）令和8年5月（市売価格） (円/m³)

品目	当月	前年同月	前年同月比
■ スギ柱 3m×105mm角KD特等	62,000	62,000	100%
▲ スギ間柱 3m×105×30mm角KD特等	68,000	68,000	100%
■ ヒノキ柱 3m×105mm角KD特等	78,000	80,000	98%
▲ ヒノキ土台 4m×105mm角KD特等	78,000	80,000	98%

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～16,000円/mとなっている。



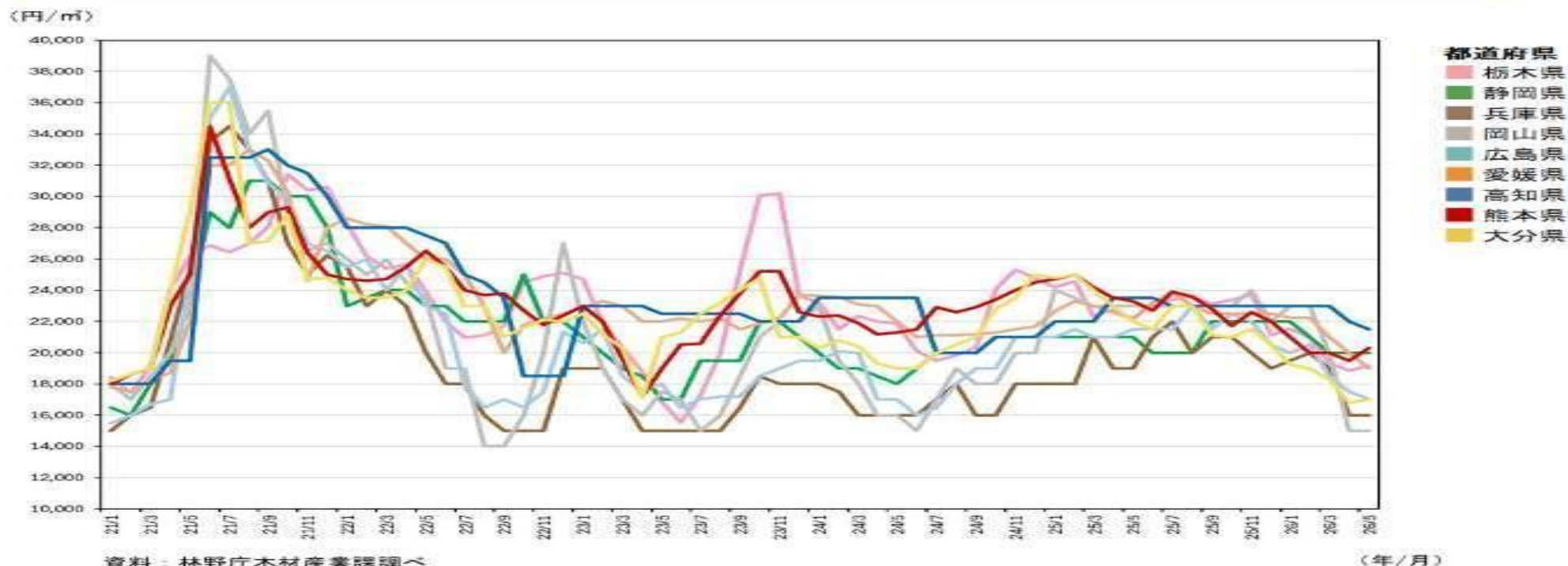
資料：林野庁木材産業課調べ
 注1：北海道はカラマツ（工場着価格）
 注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）
 注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/m)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,600	13,100	104%
秋田県	15,590	15,900	98%
栃木県	14,390	13,890	104%
長野県	13,000	12,000	108%
岡山県	12,000	13,000	92%
高知県	15,500	17,000	91%
熊本県	16,000	16,000	100%
宮崎県	15,800	15,000	105%

※北海道については4月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については5月の値を使用。

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円～21,500円/m³となっている。



(単位：円/m³)

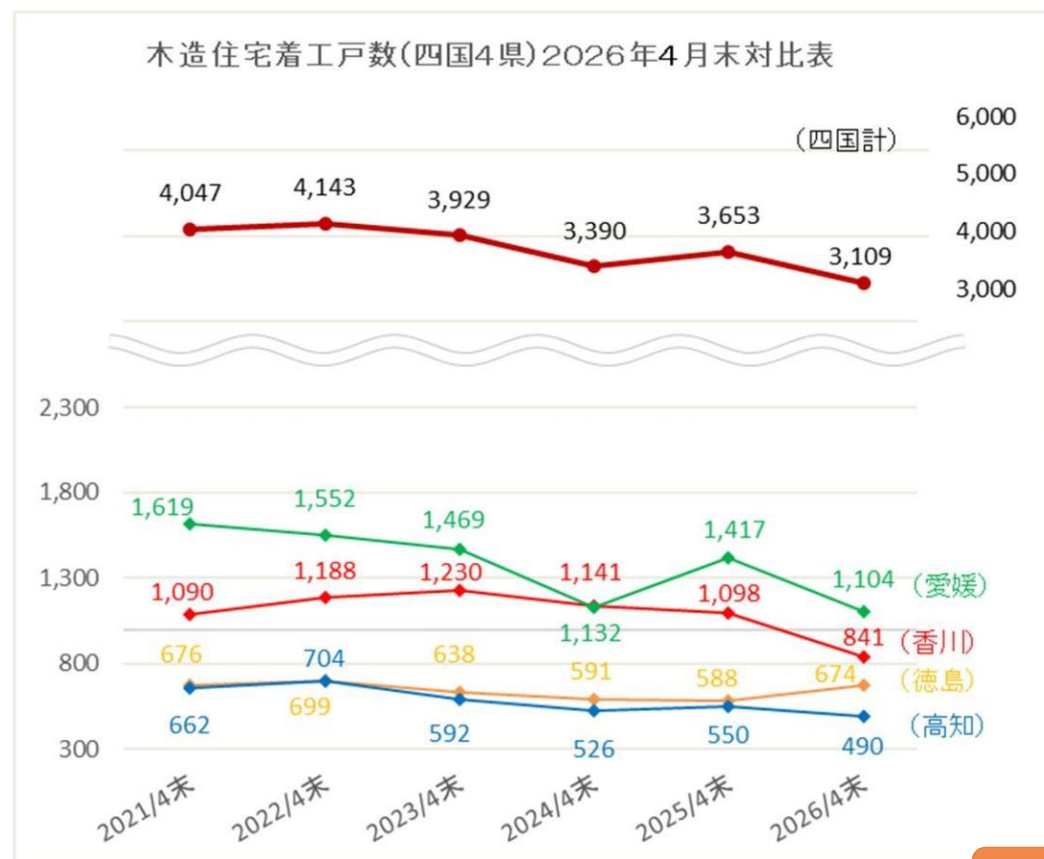
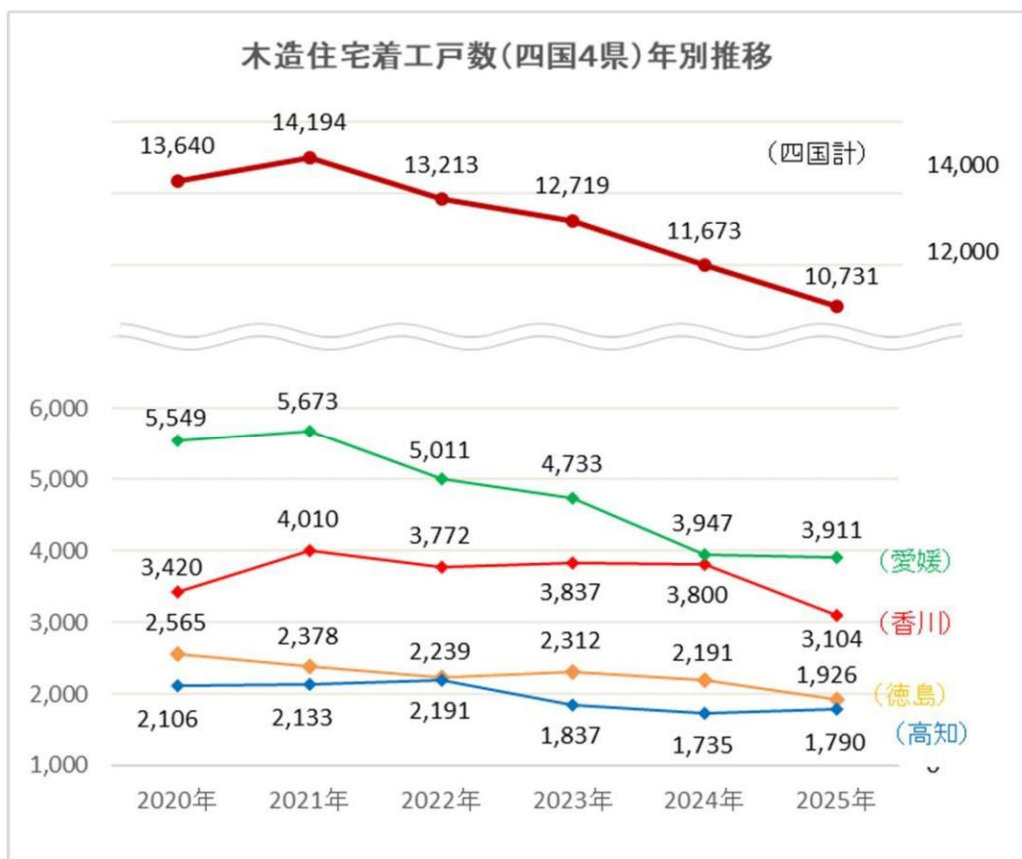
都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	19,170	22,190	86%
静岡県	20,000	21,000	95%
兵庫県	16,000	19,000	84%
岡山県	15,000	23,000	65%
広島県	17,000	21,500	79%
愛媛県	19,000	22,120	86%
高知県	21,500	23,500	91%
熊本県	20,300	23,300	87%
大分県	17,000	22,000	77%

※各県5月の値を使用。

IV 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2020年～）

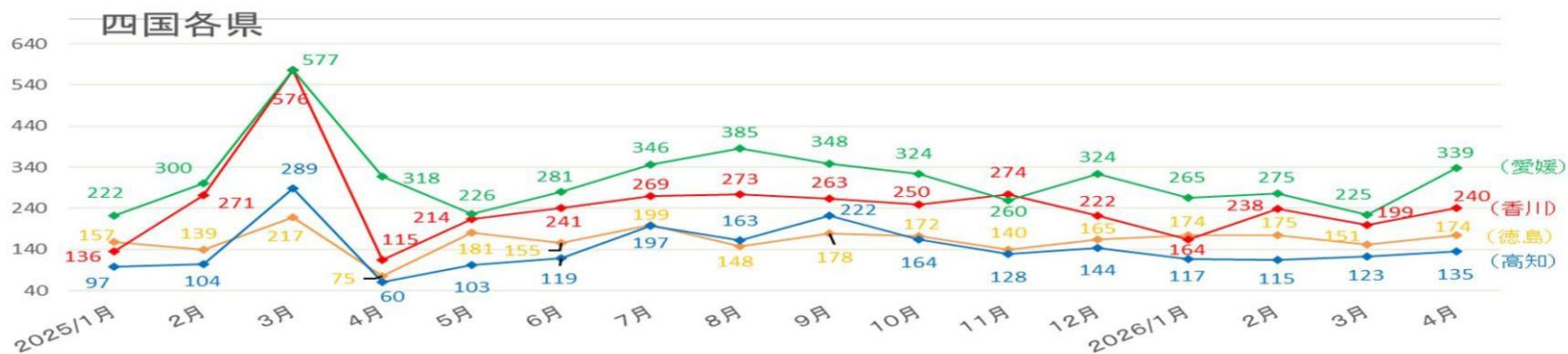
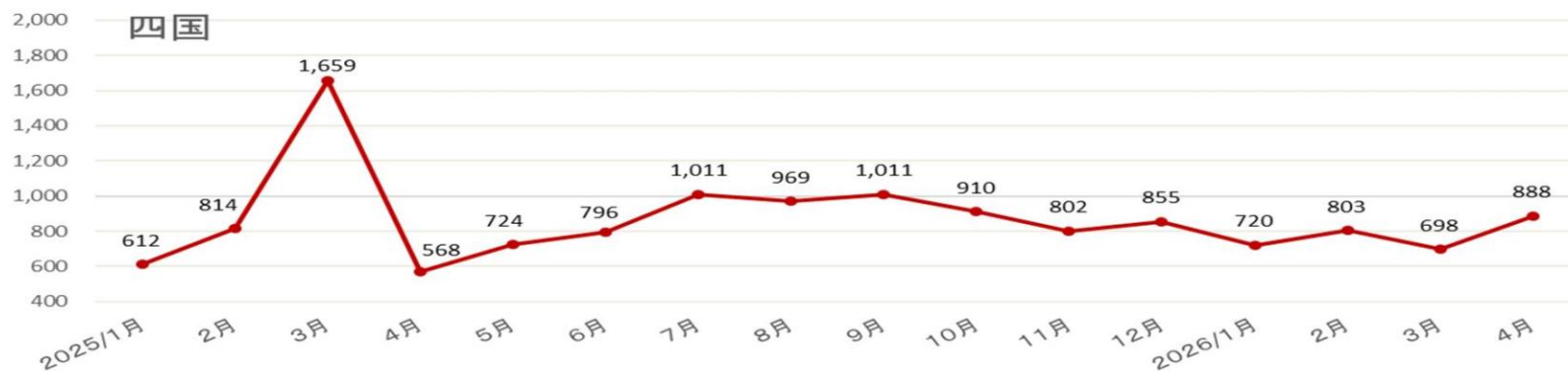
- 四国における2025年の木造住宅着工戸数は、10,731戸（前年比91.9%）となり、2024年に続き近年で最も低い水準となった。
- 2026年4月末現在四国全体では3,109戸（前年比85.1%）。県別をみると、徳島県674戸（前年比114.6%）、香川県841戸（前年比76.6%）、愛媛県1,104戸（前年比77.9%）、高知県490戸（前年比89.1%）



IV 住宅着工戸数

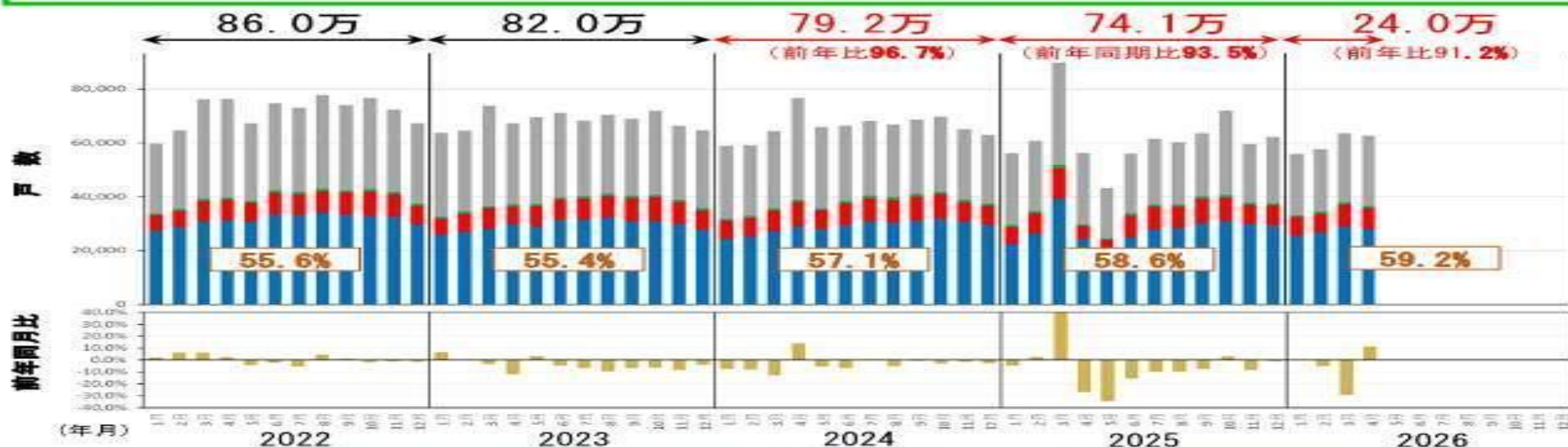
1 四国における木造住宅着工戸数の推移（2025年1月～2026年4月）

➤ 四国全体の着工戸数は昨年7月以降はほぼ横ばいで推移している。各県も同様にほぼ横ばいで推移している。



2 全国の住宅着工戸数の推移（2022年1月～2026年4月）

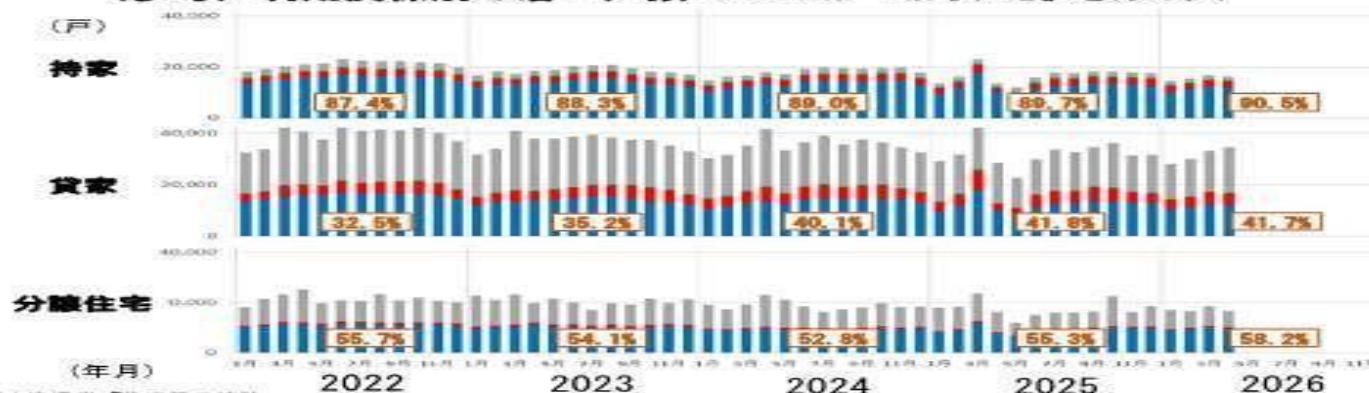
- 2025年の新設住宅着工戸数は、74.1万戸（前年比93.5%）、このうち木造住宅は、43.4万戸（同96.0%）。
- 2026年1～4月の新設住宅着工戸数は、24.0万戸（前年同期比91.2%）、このうち木造住宅は、14.2万戸（同97.3%）。



構造別の着工戸数	2026年 1～4月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	239,592	262,707	91.2%	258,908	92.5%
■非木造	97,823	117,064	83.6%	119,798	81.7%
木造	141,769	145,643	97.3%	139,110	101.9%
■木造プレハブ	3,092	3,607	85.7%	3,165	97.7%
■2×4	30,083	30,173	99.7%	30,512	98.6%
■在来軸組	108,594	111,863	97.1%	105,433	103.0%
□木造率	59.2%	55.4%		53.7%	

(単位：戸)

(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」

※ 令和7年6月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数値は訂正後の公表値に基づいている。

令和8年度 四国森林管理局木材供給量(素材・立木)

○素材生産・販売量は、5月末時点で2万3,000m³。6月以降は17万m³予定しており、計19万3千m³を予定。

○立木販売量は、5月末時点で1件1,700m³。6月以降は30万3,000m³の公売公告を予定。

令和8年度 素材供給量 ※6月以降は見込数量 下段はヒノキ数量 素材材積 (単位:m3)

県	署(所)	4月	5月	4~5月小計	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6~3月小計	計	
徳島	徳島				(600)	(600)	(600)	(900)	(1,000)	(800)	(800)	(700)	(600)		(6,600)	6,600	
					(59)	(59)	(59)	(89)	(100)	(79)	(79)	(69)	(59)		(652)	652	
愛媛	愛媛	1,182	2,564	3,746	(3,000)	(3,600)	(3,300)	(4,500)	(5,700)	(5,200)	(5,000)	(5,000)	(4,300)	(4,100)	(43,700)	47,446	
		602	1,306	1,908	(1,527)	(1,833)	(1,679)	(2,290)	(2,903)	(2,648)	(2,546)	(2,546)	(2,189)	(2,087)	(22,248)	24,156	
高知	四万十	4,957	3,938	8,896	(3,000)	(3,900)	(3,600)	(5,400)	(7,600)	(7,000)	(6,800)	(6,800)	(5,900)	(5,600)	(55,600)	64,496	
		2,906	2,308	5,214	(1,758)	(2,286)	(2,110)	(3,166)	(4,456)	(4,104)	(3,987)	(3,987)	(3,460)	(3,283)	(32,597)	37,811	
	嶺北		2,610	2,610	(1,300)	(1,500)	(1,400)	(2,000)	(2,400)	(2,200)	(2,200)	(2,200)	(1,900)	(1,600)	(18,700)	21,310	
			1,090	1,090	(543)	(627)	(585)	(836)	(1,003)	(920)	(920)	(920)	(794)	(668)	(7,816)	8,906	
	高知中部	1,089	1,086	2,175	(300)	(400)	(300)	(600)	(800)	(600)	(600)	(600)	(800)	(700)	(600)	(5,700)	7,875
		9	9	18	(3)	(4)	(3)	(5)	(7)	(5)	(5)	(7)	(6)	(7)	(52)	70	
	安芸		4,828	4,828	(2,400)	(3,000)	(2,800)	(3,800)	(4,700)	(4,300)	(4,100)	(4,300)	(3,800)	(3,500)	(36,700)	41,528	
		1,056	1,056	(525)	(656)	(612)	(831)	(1,028)	(941)	(897)	(941)	(831)	(756)	(8,018)	9,074		
小計	8,961	15,870	18,509	(7,000)	(8,800)	(8,100)	(11,800)	(15,500)	(14,100)	(13,700)	(14,100)	(12,300)	(11,300)	(116,700)	135,209		
	3,517	5,769	9,286	(2,829)	(3,573)	(3,310)	(4,838)	(6,494)	(5,970)	(5,809)	(5,855)	(5,091)	(4,714)	(48,483)	57,769		
香川	香川事		344	344	(300)	(300)	(300)	(400)	(400)	(400)	(400)	(400)	(400)	(400)	(3,700)	4,044	
			328	328	(286)	(286)	(286)	(382)	(382)	(382)	(382)	(382)	(382)	(382)	(3,532)	3,860	
計		10,143	18,778	22,599	(10,900)	(13,300)	(12,300)	(17,600)	(22,600)	(20,500)	(19,900)	(20,200)	(17,600)	(15,800)	(170,700)	193,299	
		4,119	7,403	11,522	(4,701)	(5,751)	(5,334)	(7,599)	(9,879)	(9,079)	(8,816)	(8,852)	(7,721)	(7,183)	(74,915)	86,437	

システム販売 121,000

委託販売 72,000

令和8年度 立木販売量 ※6月以降は公売公告予定数量 下段はヒノキ数量 立木材積 (単位:m3)

県	署(所)	4月	5月	4~5月小計	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6~3月小計	計
徳島	徳島				(8,900)		(10,100)								(19,000)	19,000
					(443)		(503)								(946)	946
愛媛	愛媛		1,719	1,719	(2,275)	(19,729)	(7,597)	(3,087)	(3,855)		(538)			(2,200)	(39,281)	41,000
			740	740	(980)	(8,499)	(3,272)	(1,329)	(1,660)		(231)			(947)	(16,918)	17,658
高知	四万十				(17,815)	(10,761)	(11,730)	(14,408)	(3,562)	(10,717)	(9,109)	(9,192)	(5,748)	(9,958)	(103,000)	103,000
					(9,200)	(5,557)	(6,057)	(7,441)	(1,840)	(5,535)	(4,704)	(4,747)	(2,968)	(5,143)	(53,192)	53,192
	嶺北				(2,635)		(2,634)		(5,277)		(2,638)			(8,816)	(22,000)	22,000
					(770)		(770)		(1,541)		(770)			(2,575)	(6,426)	6,426
	高知中部							(10,000)							(10,000)	10,000
								(4,489)							(4,489)	4,489
安芸					(7,993)		(4,350)	(2,841)			(7,036)	(945)	(4,709)	(6,126)	(34,000)	34,000
					(2,776)		(1,511)	(987)			(2,444)	(328)	(1,636)	(2,128)	(11,810)	11,810
小計					(38,413)	(16,318)	(25,541)	(39,179)	(12,220)	(16,252)	(24,257)	(14,884)	(13,425)	(32,618)	(233,107)	233,107
					(12,746)	(5,557)	(8,338)	(12,917)	(3,381)	(5,535)	(7,918)	(5,075)	(4,604)	(9,846)	(75,917)	75,917
香川	香川事				(365)	(224)	(3,343)			(2,770)			(2,018)	(3,280)	(12,000)	12,000
					(340)	(209)	(3,115)			(2,581)			(1,880)	(3,056)	(11,181)	11,181
計			1,719	1,719	(49,953)	(36,271)	(46,581)	(42,266)	(16,075)	(19,022)	(24,795)	(14,884)	(15,443)	(38,098)	(303,388)	305,107
			740	740	(14,509)	(14,265)	(15,228)	(14,246)	(5,041)	(8,116)	(8,149)	(5,075)	(6,484)	(13,849)	(104,962)	105,702

「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料3)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和8年2月～令和8年5月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和8年2月～令和8年5月)

【スギ中丸太】 ・ 3月以降は5ヶ月連続下落した動きはない。

【ヒノキ中丸太】 ・ 5月に5ヶ月連続下落した動きがある。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和8年2月～令和8年5月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和8年2月～令和8年5月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和8年1月～令和8年4月)

【徳島県・愛媛県スギ】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはない。

【愛媛県・高知県ヒノキ】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはない。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領(平成25年7月30日付け25四資第19号)の2の(ア)から(オ)に係る確認

[判断基準・指標]

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書(平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター)に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ: 「国内企業物価指数」(日本銀行統計)
「木材価格」「製材統計」(農林水産省統計)

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.72%				逸脱下限値 -5.78%				逸脱上限値 22.04%				逸脱下限値 -22.01%				逸脱上限値 17.74%				逸脱下限値 -18.69%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月				
スギ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-0.38%	0.48%	-1.43%	0.52%	-6	1	-1	1	2.24%	-1.02%	-3.67%	-5.15%	4.88%	3.79%	0.60%	-0.31%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 8.78%				逸脱下限値 -9.06%				逸脱上限値 38.75%				逸脱下限値 -39.71%				逸脱上限値 28.41%				逸脱下限値 -31.92%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月	2月	3月	4月	5月				
ヒノキ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-0.93%	-0.06%	-2.43%	-6.68%	-2	-3	-4	-5	-4.79%	-7.24%	-13.00%	-20.64%	-2.34%	-4.03%	-8.11%	-15.51%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率			
	1月	2月	3月	4月
スギ製材用素材(徳島・愛媛)	1.15	1.27	1.21	1.20
ヒノキ製材用素材(愛媛・高知)	1.04	1.05	1.02	1.03

逸脱上限値	逸脱下限値
1.86	0.77
1.57	0.86

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。

樹木採取権制度による令和7年度の木材取引実績について

樹木採取権制度による令和7年度の素材生産量は以下のとおりでしたので、報告します。

樹木採取区名	令和7年度素材生産量
四国1 四万十川上流樹木採取区	5,043m ³

(参考)

四国1 四万十川上流樹木採取区については、令和4年3月31日に樹木採取権が設定され、令和4年度から樹木採取権者による事業を開始しました。

この事業については、林野庁長官通知により、樹木採取区からの木材取引の実績を国有林材供給調整検討委員会に毎年度報告し、地域の木材需給等への影響について、当委員会において確認していただくこととなっています。

1 木材輸入の状況について

令和8年6月18日

四国森林管理局

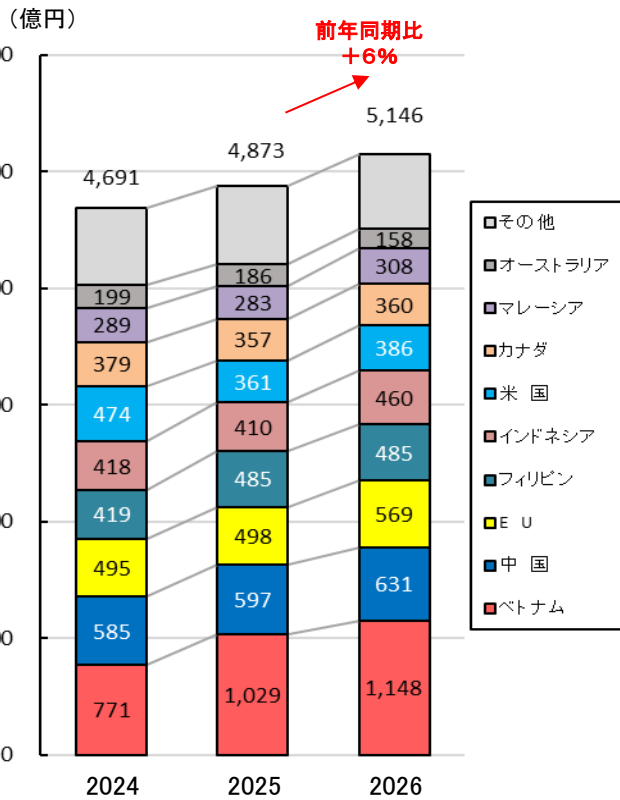
木材輸入の状況について

(2026年4月実績)

林野庁 木材貿易対策室

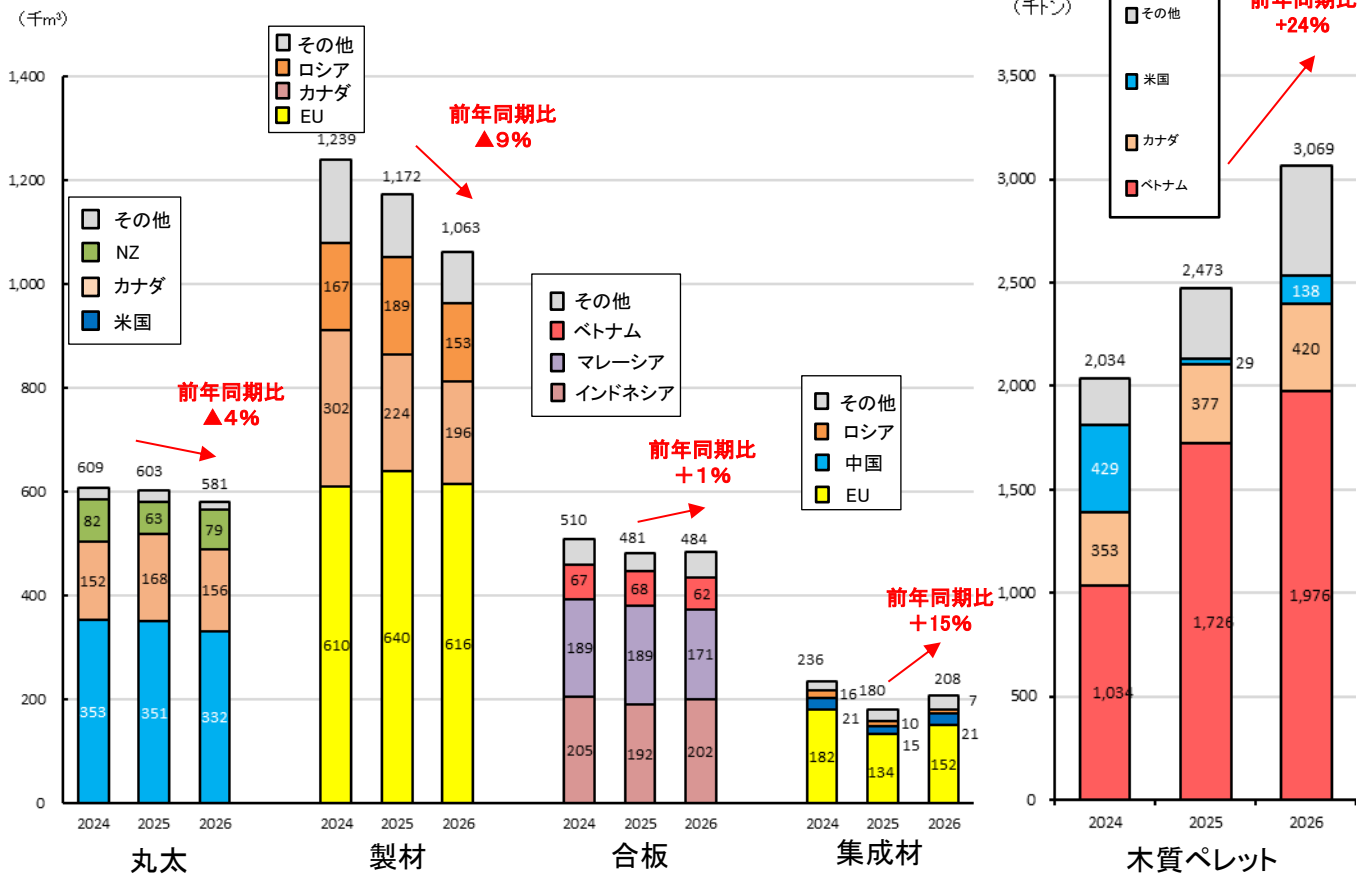
1. 2026年4月の木材輸入実績

- 2026年1月～4月の木材輸入額累計は、前年同期比+6%の5,146億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲4%、製材が同▲9%、合板が同+1%、集成材が同+15%、木質ペレットが同+24%となった。
- なお、2024年同期と比較すると、木材輸入額累計は+10%。品目別輸入量では、丸太が▲4%、製材が▲14%、合板が▲5%、集成材が▲12%、木質ペレットが+51%。



資料: 財務省「貿易統計」

木材輸入額の推移
(2024～2026年における1月～4月累計)

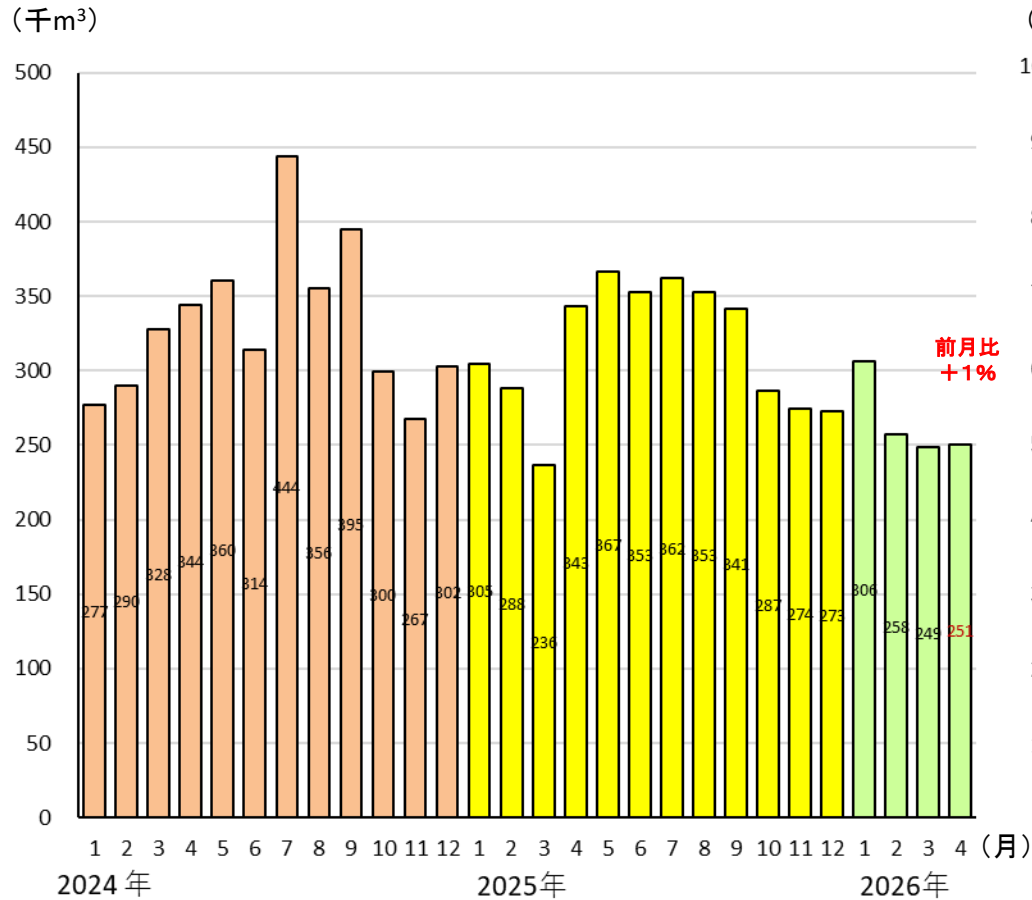


資料: 財務省「貿易統計」

品目別木材輸入量の推移
(2024～2026年における1月～4月累計)

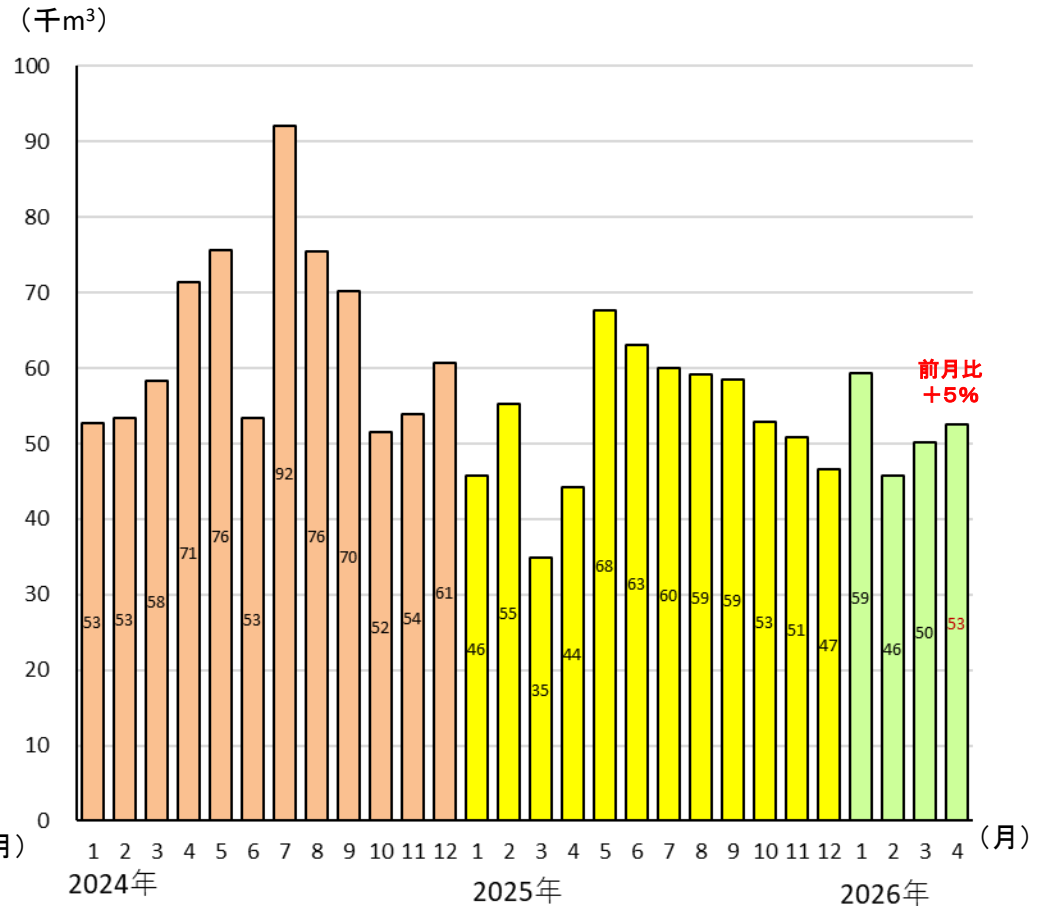
2. 製材・集成材の月別輸入量

- 2026年4月の製材輸入量は、前月比+1%の25.1万m³(前年同月比▲27%)。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+5%の5.3万m³(前年同月比+19%)。



資料:財務省「貿易統計」

製材の輸入量

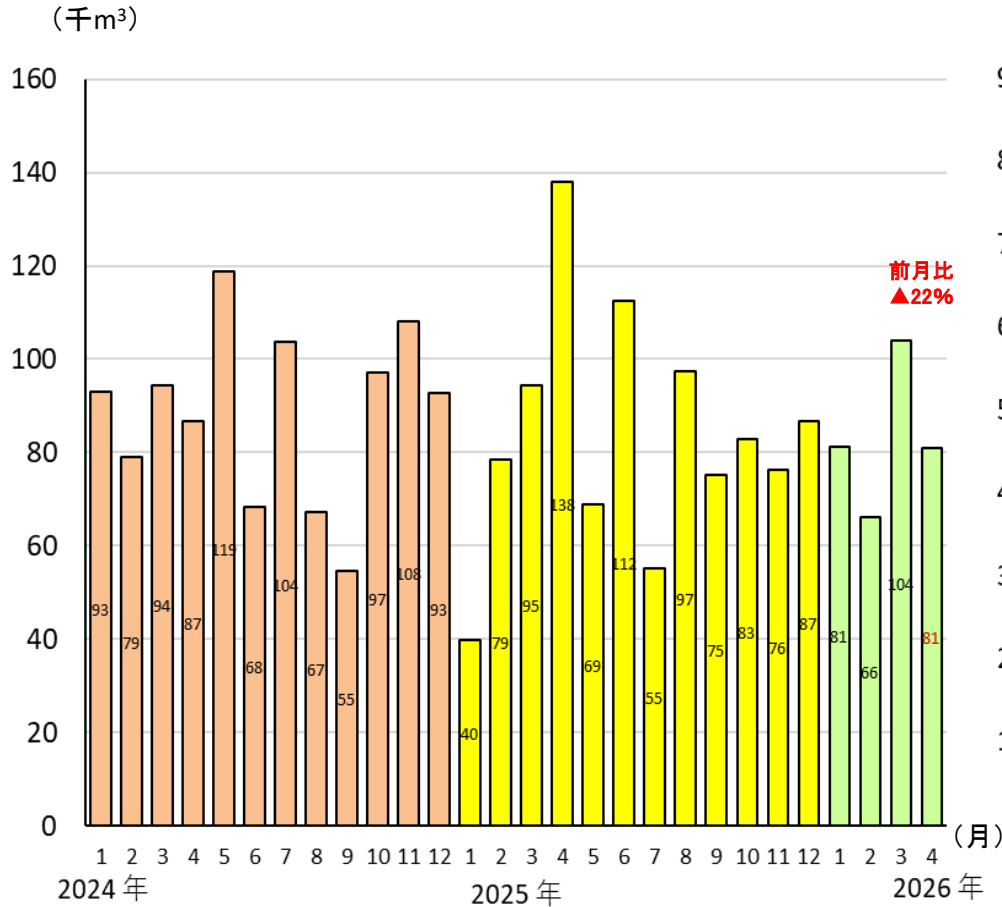


資料:財務省「貿易統計」

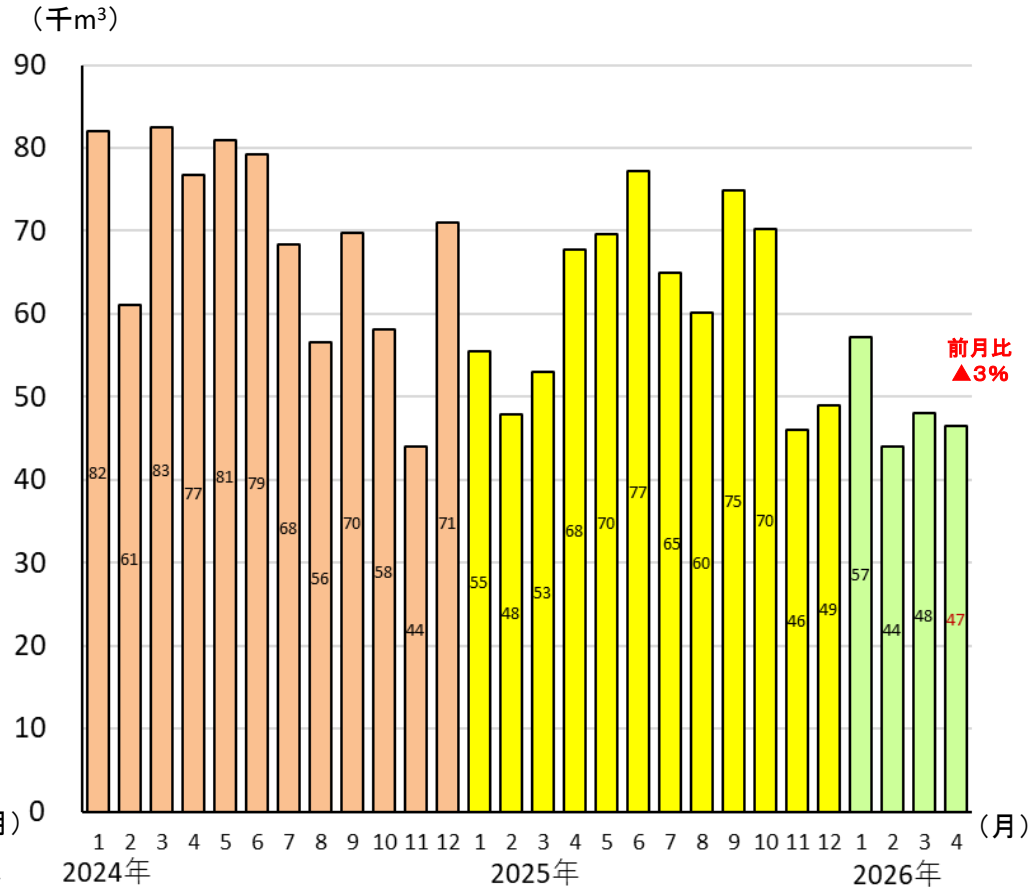
集成材の輸入量

3. 北米からの月別輸入量

- 2026年4月の米国からの丸太輸入量は、前月比▲22%の8.1万m³(前年同月比▲41%)。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比▲3%の4.7万m³(前年同月比▲31%)。



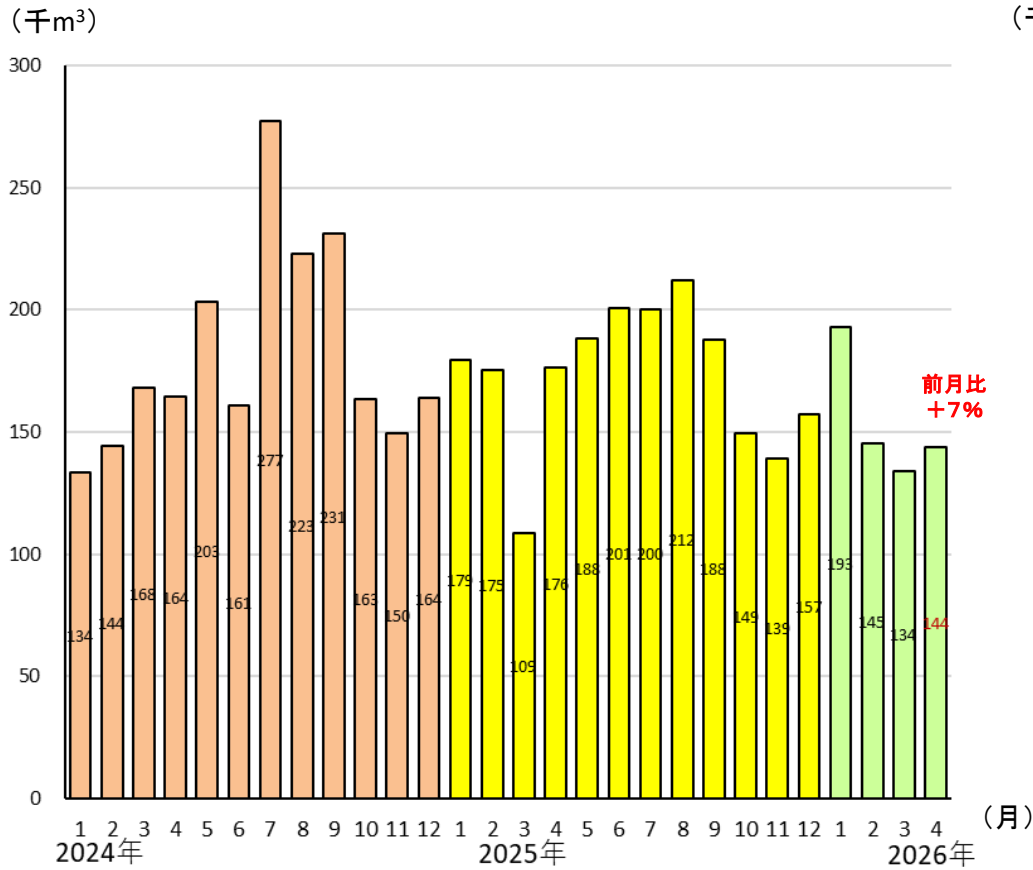
米国からの丸太輸入量



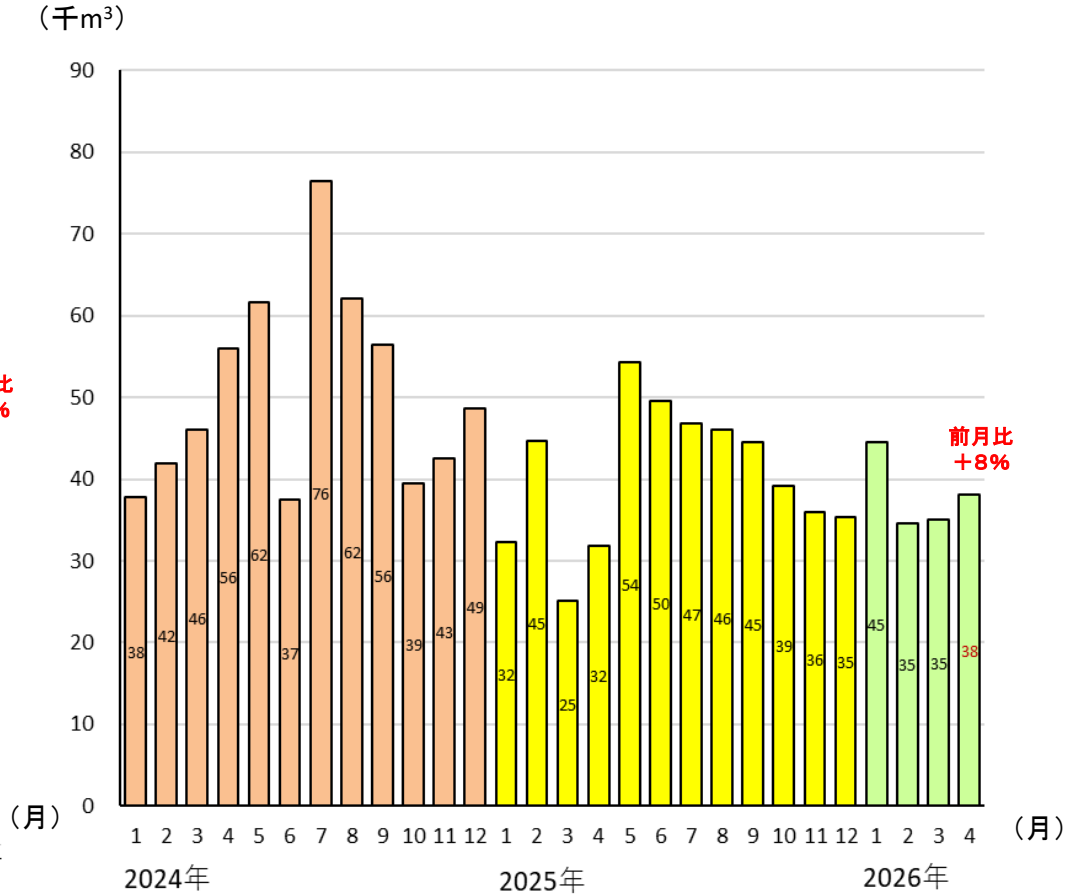
カナダからの製材輸入量

4. 欧州からの月別輸入量

- 2026年4月のEUからの製材輸入量は、前月比+7%の14.4万m³(前年同月比▲18%)。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+8%の3.8万m³(前年同月比+19%)。



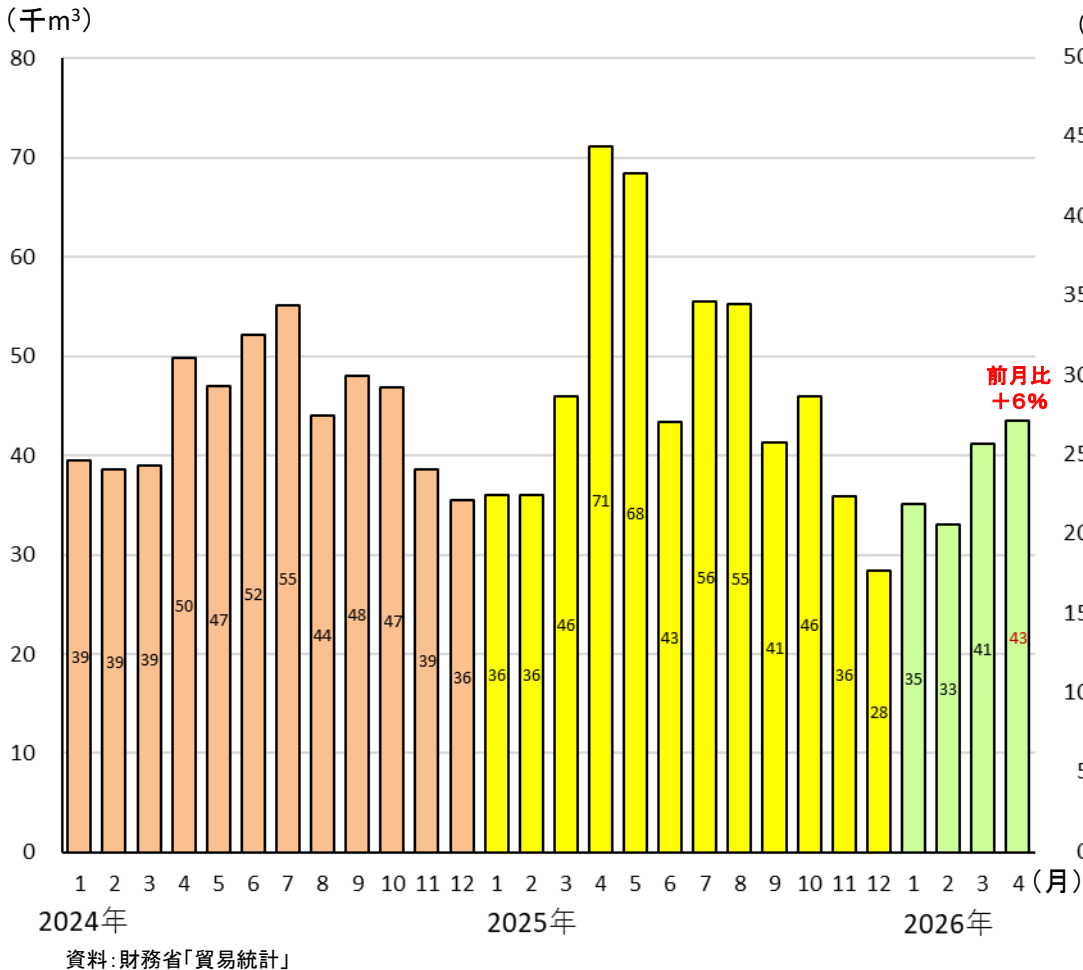
EUからの製材輸入量



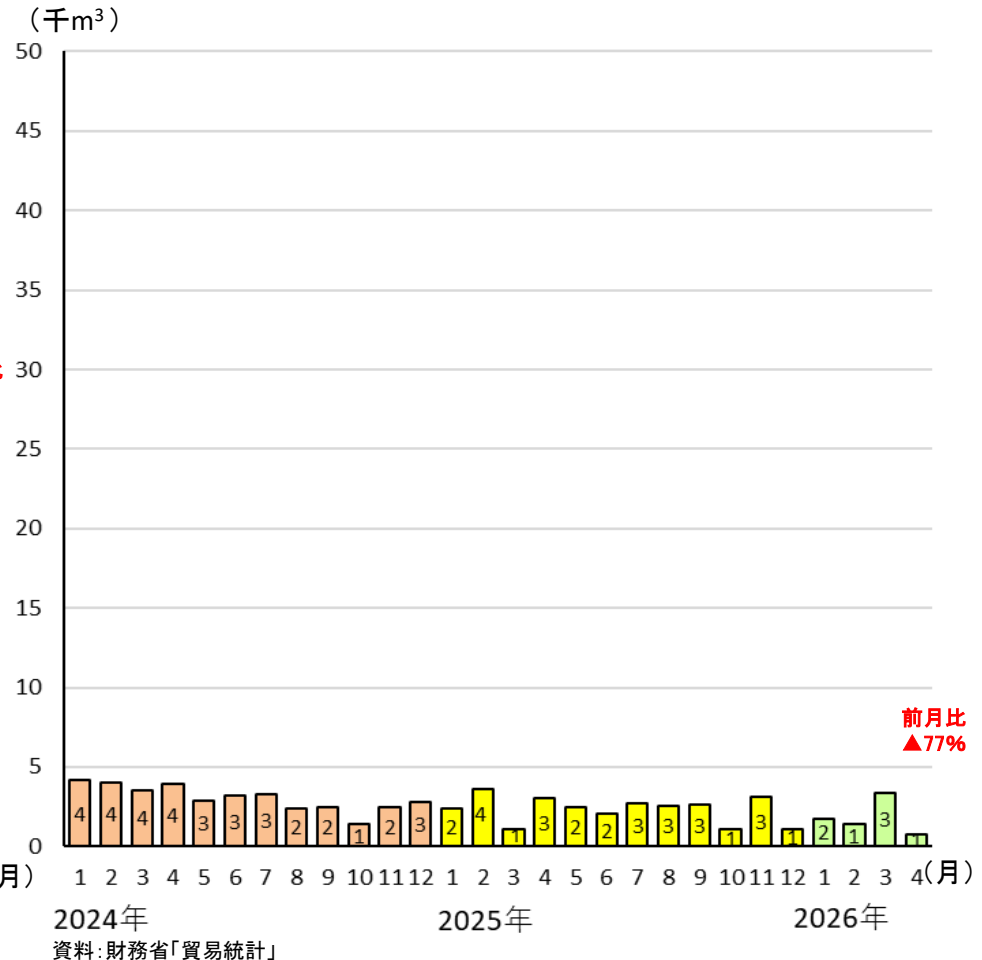
EUからの集成材輸入量

5. ロシアからの月別輸入量

- 2026年4月のロシアからの製材輸入量は、前月比+6%増の4.3万m³(前年同月比▲39%)。
- 同月のロシアからの集成材輸入量は、前月比▲77%の1千m³(前年同月比▲74%)。



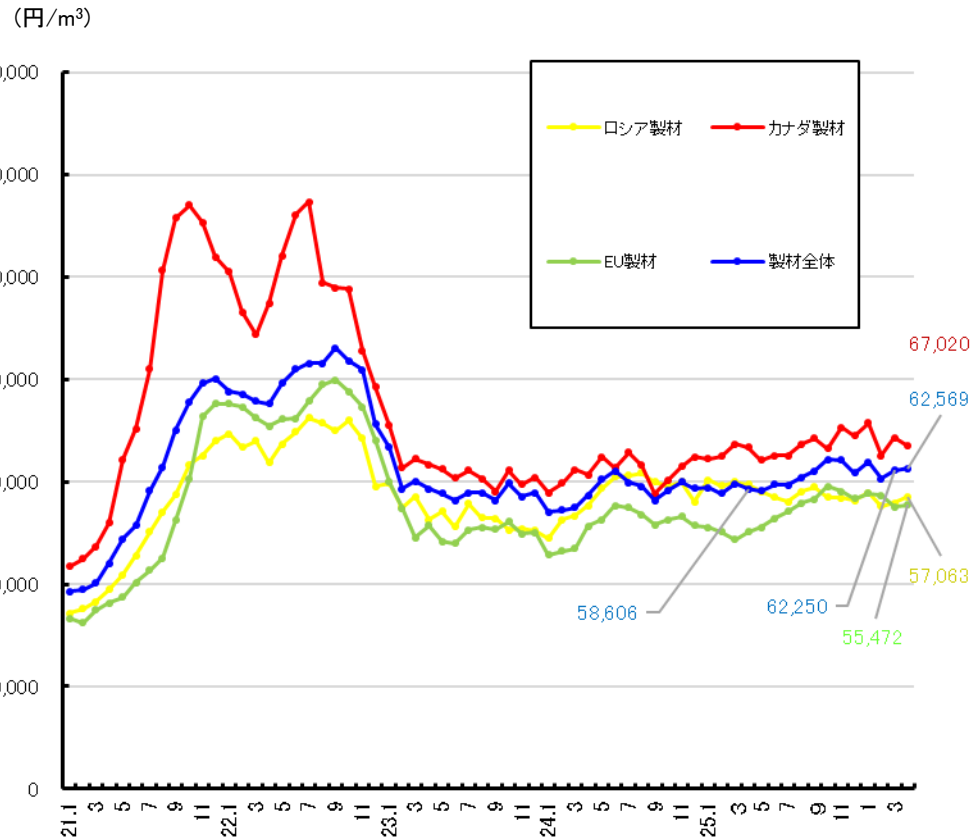
ロシアからの製材輸入量



ロシアからの集成材輸入量

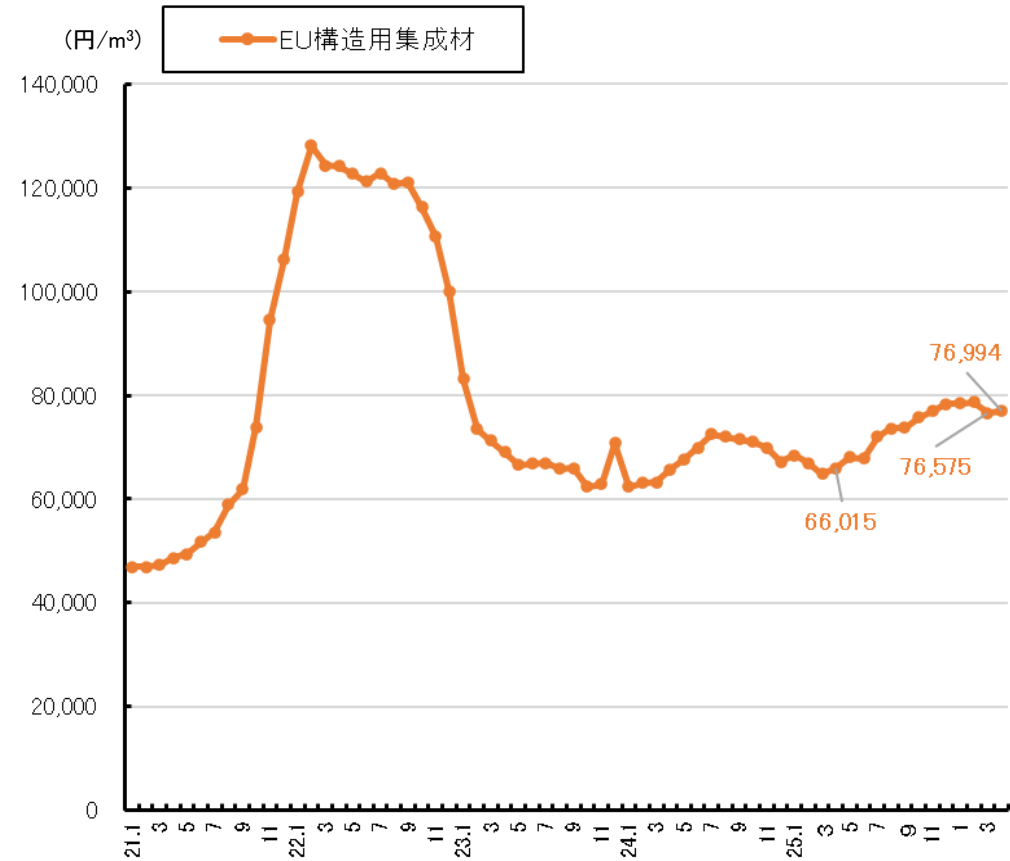
6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2026年4月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比+1%増の62,569円/m³（前年同月比+7%増）。国別に見ると、カナダの製材は、前月比▲2%の67,020円/m³（前年同月比+0%）、EUの製材は、前月比+1%の55,472円/m³（前年同月比+10%）、ロシアの製材は、前月比+2%の57,063円/m³（前年同月比▲4%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比+1%の76,994円/m³（前年同月比+17%）。



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価

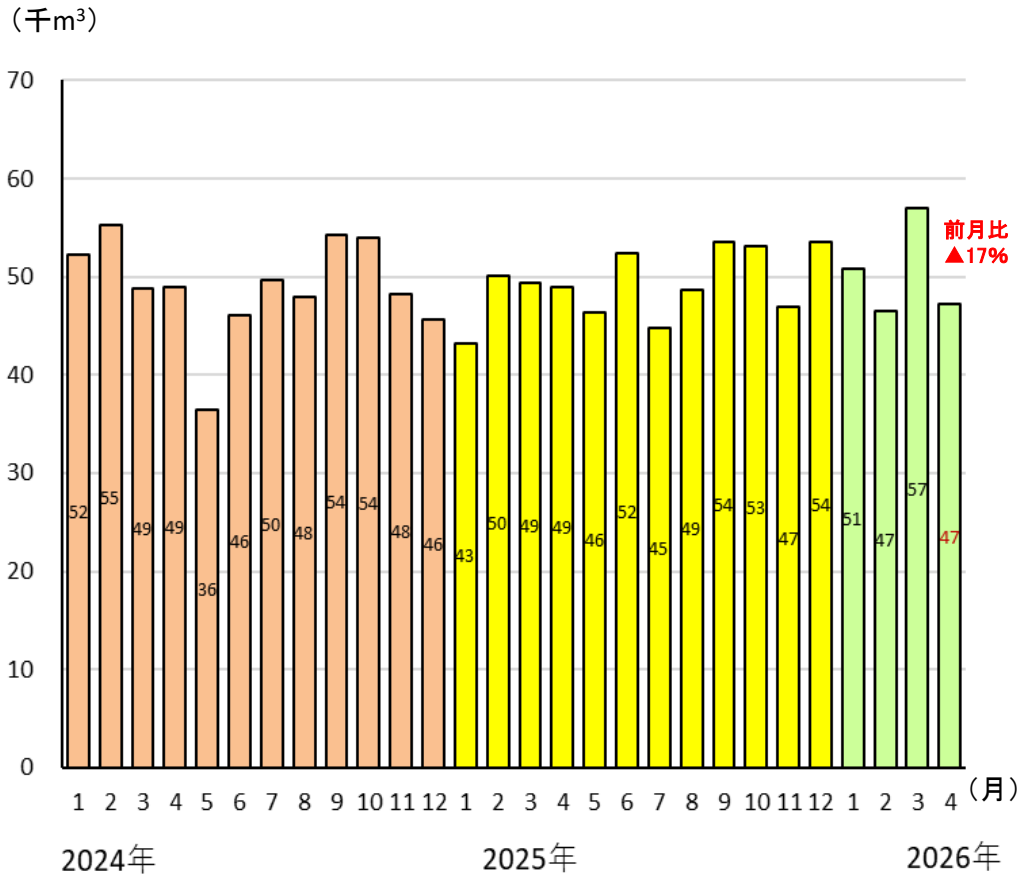


注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

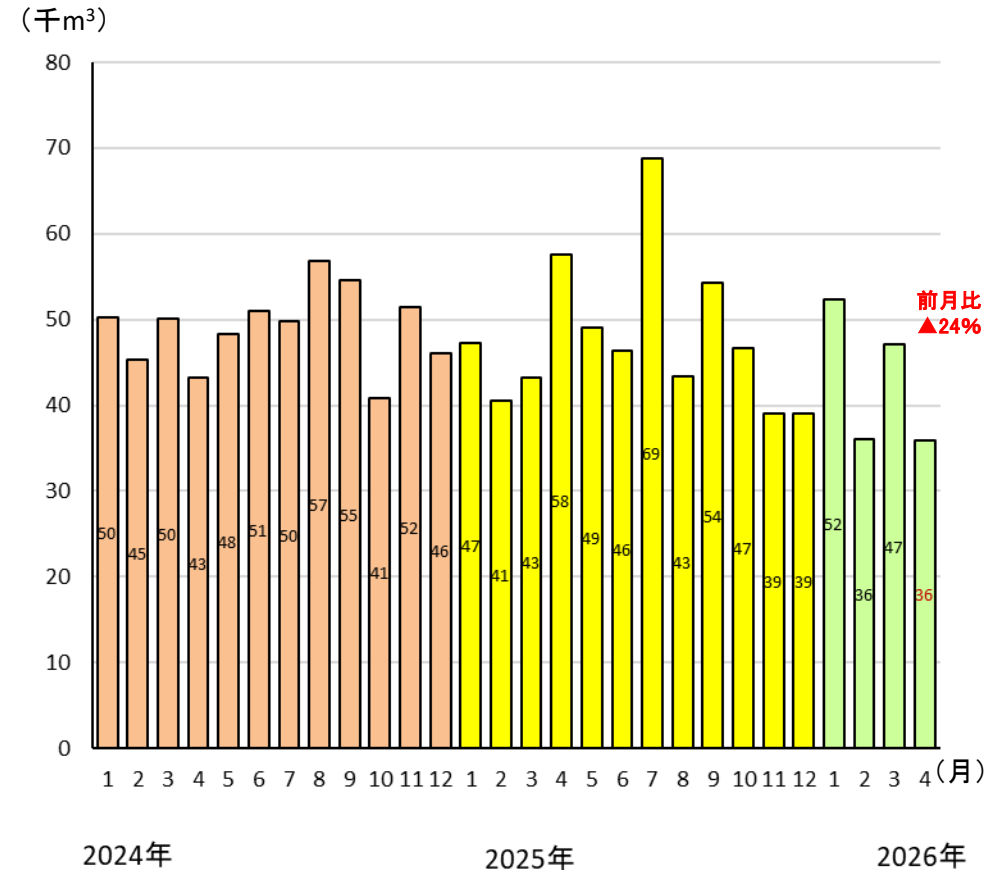
構造用集成材の輸入平均単価

8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2026年4月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲17%の4.7万m³(前年同月比▲4%)。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比▲24%の3.6万m³(前年同月比▲38%)。



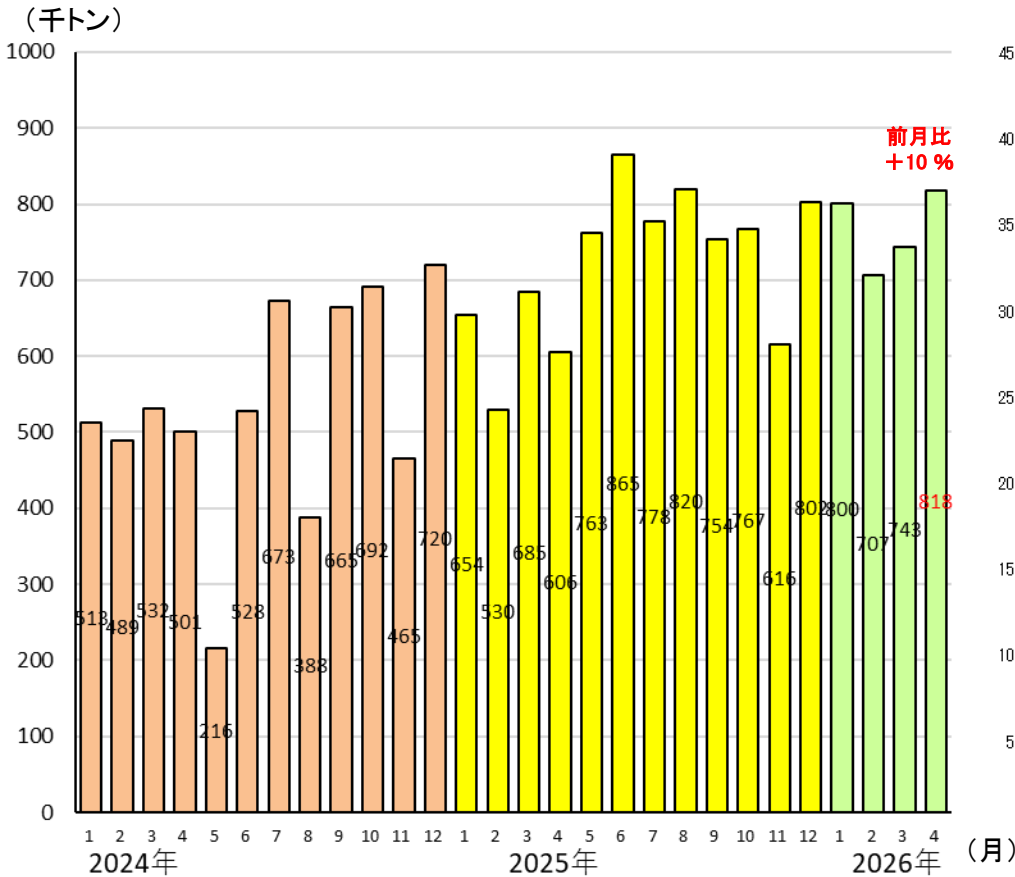
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

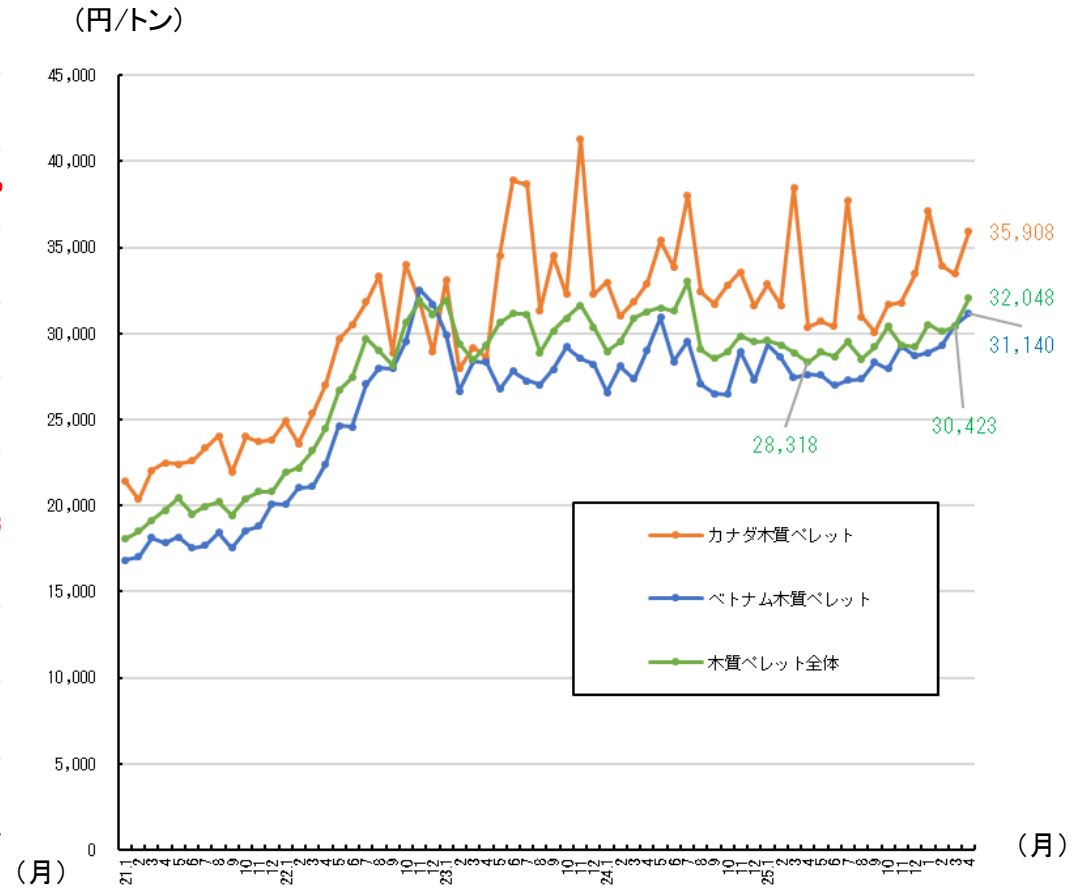
9. 木質ペレットの月別輸入量と価格

- 2026年4月の木質ペレット輸入量は、前月比+10%の82万トン(前年同月比+35%)。
- 同月の木質ペレット輸入平均単価は、前月比+5%の32,048円/トン(前年同月比+13%)。



資料:財務省「貿易統計」

木質ペレットの輸入量

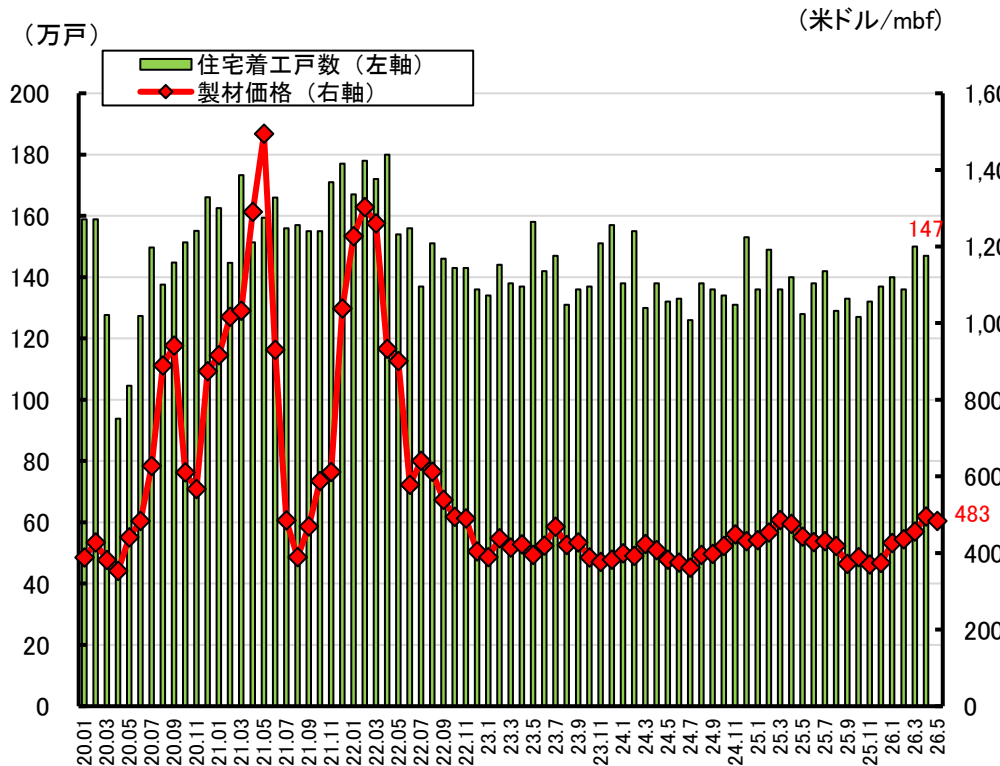


注:輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

木質ペレットの輸入平均単価

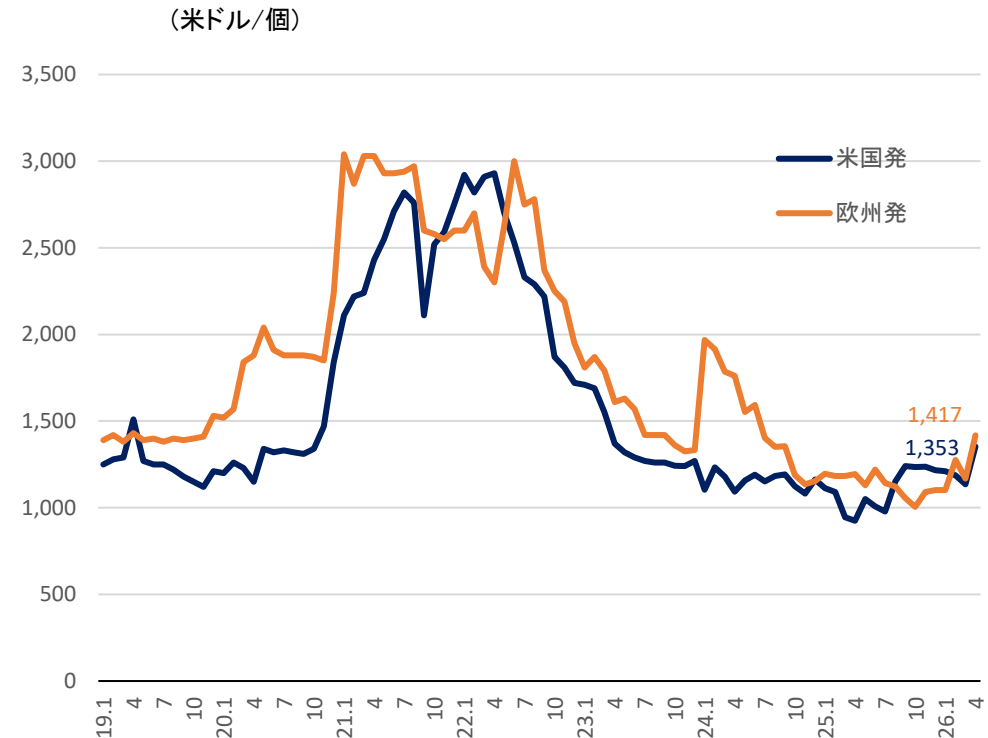
(参考1) 米国における木材価格の動向等

- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、2022年5月からは概ね130～150万台で推移。
2026年4月は前月比▲3%の約147万戸。
- 北米の製材価格は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年4月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。2026年5月は483ドル/mbf（前月比▲2%）。
- 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、2023年末時点で概ね元の水準まで下落。2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰。



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)
(製材価格)Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格、2022年6月以降は月中価格)

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移

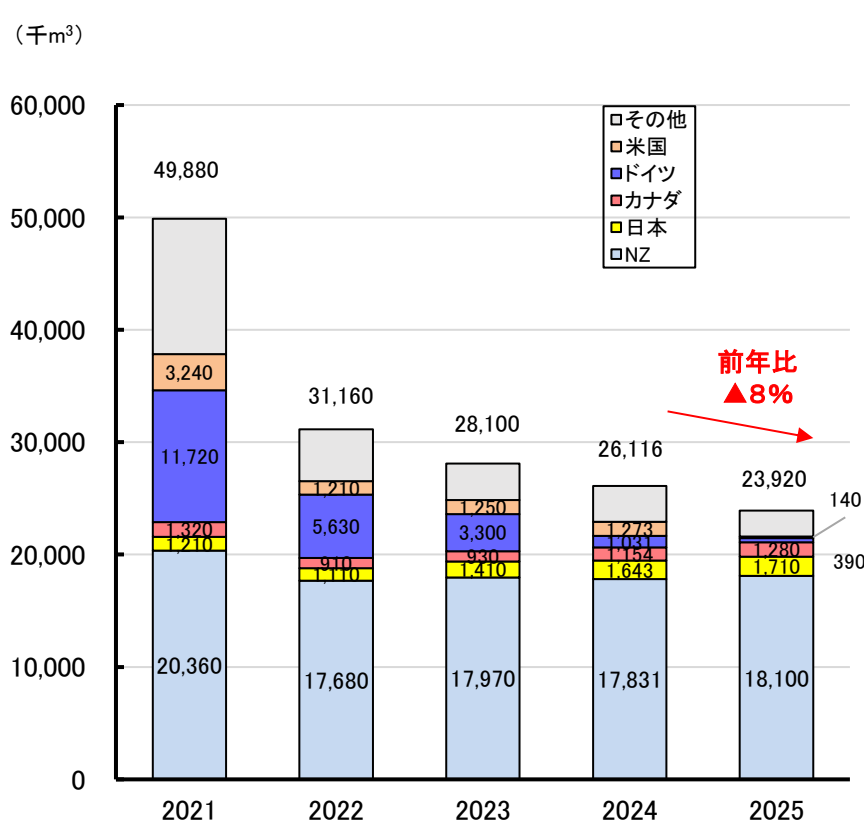


(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」
資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

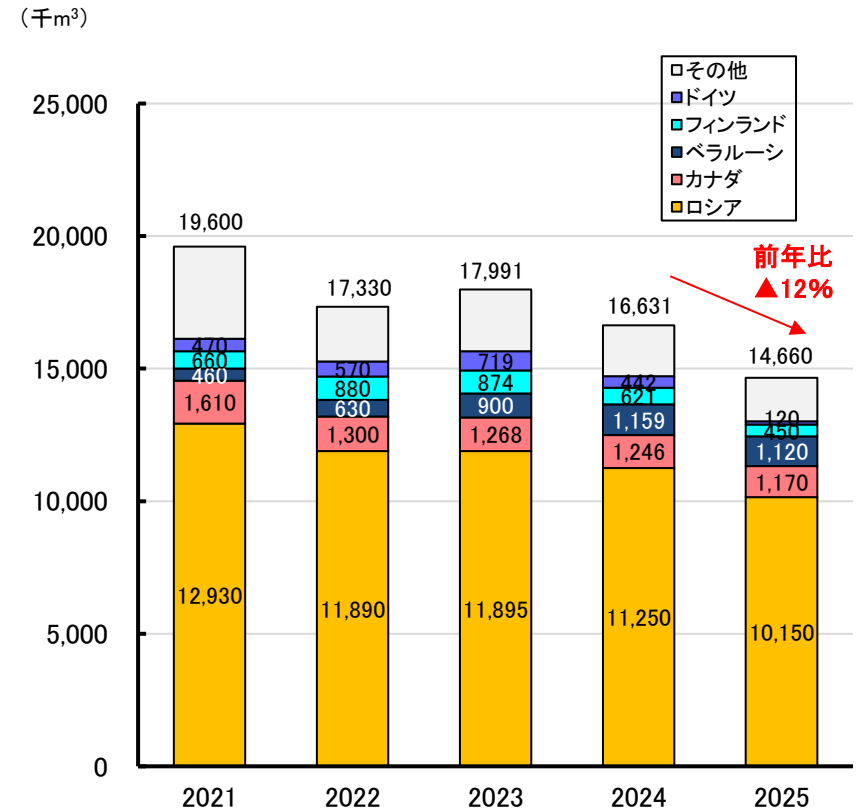
日本向けコンテナ運賃の推移

(参考2) 中国における木材需要の動向

- 2025年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比▲8%減の2,392万m³。輸入量第1位はニュージーランド、第2位は日本、第3位はカナダ。米国からの輸入は検疫による丸太輸入禁止の影響により、大幅に減少。日本からの輸入は前年比+4%増となっている。
- 同針葉樹製材輸入量は、前年比▲12%減の1,466万m³。輸入量第1位はロシア。
- 不動産市場は2021年以降調整が長引いており、不動産開発投資や販売面積は4年に渡ってマイナス圏で推移。



針葉樹丸太



針葉樹製材

中国の木材輸入量(2021年~2025年)

(参考)2025年の木材輸入実績

- 2025年の木材輸入額累計は、前年同期比+2%増の1兆4,911億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲4%減、製材が同▲6%減、合板が同▲2%減、集成材が同▲17%減、木質ペレットが同+35%増となった。
- なお、2023年同期と比較すると、木材輸入額累計は+6%増。品目別輸入量では、丸太が▲15%減、製材が+13%増、合板が+4%増、集成材が横ばい、木質ペレットが+49%増。

